

付録

読谷村戦後年表

読谷村戦後年表

1945（昭和20）

- この年 この年まで読谷村役場は字喜名に置かれていた。沖縄戦により村内諸施設・各学校及び民家を焼失する。
- 2月 村民の国頭避難が始まる。
- 3月23日 千数百機の米軍機グラマンによる大空襲始まり、村内に残っていた住民は急いで北部方面へ避難する。
- 3月24日 グラマンの来襲に加え西海岸に集結した米軍大艦隊からの艦砲射撃の猛攻ははじまる。
- 3月25日 喜名観音堂近くに駐留中の日本軍から北部方面への退避命令がでる。非難できない老人を村に残し、空爆のため昼は山中にかくれ、夜の避難となった。
- 3月29日 宇座のヤーガーに避難した31人が爆撃のため犠牲になる。
- 3月30日 第32軍司令官、北・中飛行場の破壊を命ずる。
- 4月1日 米軍は嘉手納、読谷一帯の海岸線より海兵隊22連隊が無血上陸し、読谷村全域が米軍の占領下となる。
- 4月 4月から8月にかけて、村民は国頭山中を逃げまどい、戦死者、病死者、餓死者など犠牲者は悲惨を極める。捕虜となった村民は国頭、久志、宜野座、金武、石川等の収容所に収容される。
- 4月2日 波平のチビチリガマで集団自決が発生84人の犠牲者がでる。
- 4月13日 米軍、比謝の北に米軍政本部を設置する。（第10軍指揮下）
- 4月下旬 本土攻撃のためボーローポイント飛行場が造られる。
- 5月24日 義烈空挺隊120人が北・中飛行場奪還のため強行着陸し、米軍機等を破壊する。
- 6月23日 牛島軍司令官・長勇参謀長の自決により日本軍の組織的戦闘が終結する。
- 8月15日 ポツダム宣言の受諾により日本は無条件降伏。
- 9月7日 日本軍先島集団長納見敏郎中将ら、嘉手納で無条件降伏文書に調印する。
- 9月20日 沖縄本島及び周辺島16市（地区）で婦人に選挙権が認められる。
- 11月 ハワイで沖縄救済衣料運動委員会結成される。

1946（昭和21）

- 4月 ひめゆりの塔建立される。同敷地は古堅出身のハワイ二世、儀間真一が買い求め寄付したもの。
- 4月15日 旧日本円よりB円への第1次通貨交換が実施される。
- 4月22日 軍政府は軍指令「沖縄民政府創設に関する件」を交付し、沖縄中央政府を創設する。
- 8月6日 米軍、宇波平、宇高志保地域への居住許可発布する。
- 8月12日 軍政府より読谷村への移動許可を受け、読谷村建設隊を組織し、荒廃した読谷村建設に着手する。
- 8月17日 復員兵、本土疎開者、引揚げ者が第1船で久場崎に到着する。
- 8月31日 村民移動中止命令により建設隊は建設を中止して村を引きあげる。
- 9月11日 移動中止命令解除の通知を受ける。
- 9月16日 建設隊再び村建設作業に着手する。



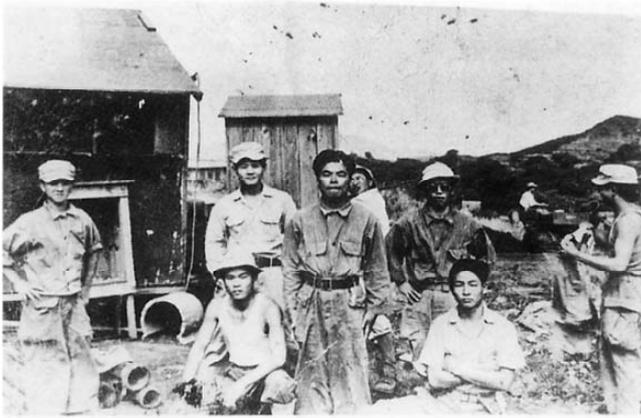
1 戦前の読谷山役場



2 読谷海岸に上陸する海兵隊員



3 北飛行場奪還にきた義烈空挺隊



4 ハワイに送られたPW



5 収容所に集められた住民



6 終戦後まもない渡慶次初等学校



7 楚辺の居住地

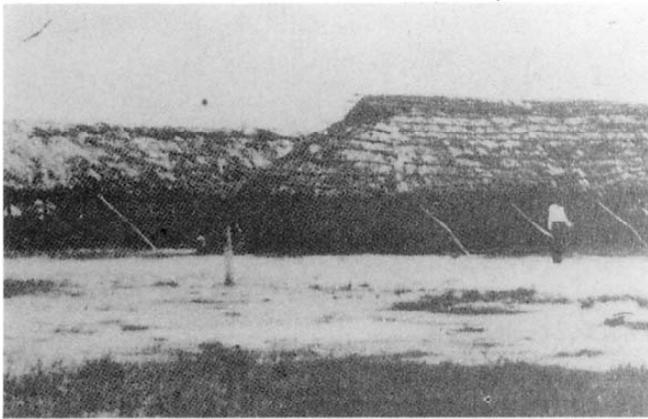
- 11月6日 読谷初等学校（波平北側）並びに渡慶次分校（高志保小字名シービヌチジ）の設立が沖縄中央政府より認可され、戦後最初の校長に大湾梅成発令される。
- 11月15日 楚辺、大木地域に居住許可が下り、建設隊南部支隊によって建設が進められる。
- 11月20日 第一次村民の受入、辺土名、田井等、久志地区等の存住村民から順次移動を開始する。
- 11月26日 村内に初等学校を設立する。
- 12月1日 読谷村役所を設置し、役場事務を開始する。
- 12月12日 第一次村民移動で約5,000人が村内に居住する。
- 12月16日 これまで使用した村名「読谷山」を「読谷」に改称する。
- 12月20日 読谷初等学校開校式を挙行。初等学校敷地は、波平区北側で現在の役所敷地に定める。渡慶次分校の敷地は高志保区東側の高台へ定める。児童数350名、職員数15名によってスタートする。

1947（昭和22）

- この年 渡慶次初等学校として独立復校する。宇座信篤校長が就任。
波平区、木造トタン葺きの仮行政事務所を造り行政事務を執り行う。
4校区の単位青年団をまとめ読谷村青年連合会として発足する。
- 1月 読谷初等学校・米軍の許可を受け、敷地を波平の東側、現在の読谷中学校敷地に定める。木麻黄、軍払下のテントを使用して教室建設がなされる。
- 1月 読谷初等学校後援会を設立。初代会長に大湾梅成、副会長に宮城伝三郎が選ばれる。
- 1月15日 沖縄民生府総務部稲嶺事務官外3名が楚辺、大木地区への村民移住及び農耕許可地の実施調査のため来村する。
- 1月28日 楚辺、大木の居住許可地域の建設に着手する。
- 2月10日 宇座区地域の農耕地を人頭割で分配し、耕作を開始。同時に、旧宇座部落への移動を米軍に陳情。
- 2月21日 宜野座地区より第2次村民受入開始する。
- 2月24日 渡慶次初等学校設立許可される。
- 2月24日 古堅初等学校設立認可を受け、第13代校長に城前初等学校長の山内繁茂が就任する。
- 3月 渡慶次小学校で第1回修了式及び修業式が行われる。
- 3月6日 第2次村民移動が完了する。
- 3月22日 読谷村水産組合の設立総会が行われる。
- 4月1日 古堅校区住民の移動開始。
- 4月11日 楚辺、大木地域へ住民の村内移動が始まる。
- 5月1日 漢那、中川、城原地域より第3次村民受入が始まる。
- 6月24日 完了。
- 5月3日 楚辺東原に古堅初等学校開校。傘型テント校舎で授業が始まる。
- 5月12日 渡慶次幼稚園の開園式（園児119名）
- 5月27日 渡慶次小学校各区各班の自治会が組織され、また、少年自治会が組織される。
- 6月 渡慶次畜産組合が発足する。
- 6月7日 読谷初等学校において戦没者慰霊祭が執り行われる。
- 6月25日 読谷初等学校において読谷村民大会が行われる。
- 7月 渡慶次青年会が発足する。



8 座喜味トーカーの規格住宅



9 終戦後まもない喜名初等学校



10 基地内にあった梯梧之塔



11 コザ高校喜名分校

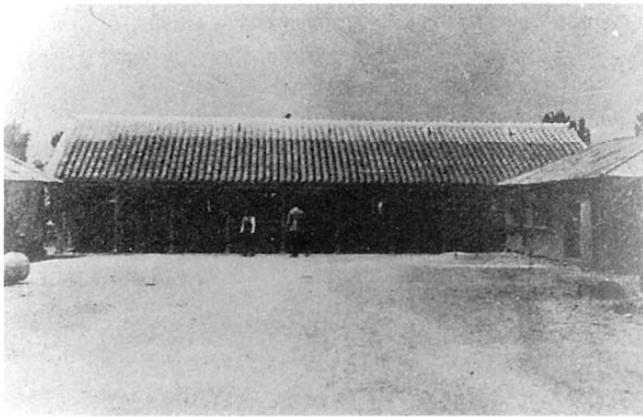
- 7月7日 戦没者遺骨の交付式が挙行される。
- 7月20日 座喜味地域への村内移動が始まる。
- 8月 渡慶次旧部落内道路拡張基盤型計画に基き設計実測を行う。移動完了祝賀会が高志保で行われ、土地整備もこのころ始まる。
- 8月10日 胡差地区より村民受入が始まる。
- 8月29日 戦没者遺骨交付式で52柱が交付される。
- 9月10日 読谷村婦人会結成総会が開催される。
- 9月15日 知花英康村長が辞任する。
- 10月16日 瀬名波、渡慶次、儀間地域に住民居住許可の通知を受ける。
- 11月 渡慶次地域住民旧部落へ移動する。
- 11月9日 石川地区から村民受入始まる。
- 12月10日 渡慶次小学校校区婦人会結成総会がなされる。
- 12月30日 読谷村復興後援会設立される。
- 12月31日 喜名初等学校設立認可され、宮森初等学校長の石嶺伝盛が初代校長に就任。

1948 (昭和23)

- この年 都屋区で移動完了祝賀会行われ、角力大会・爬龍船競争・演芸大会等を催す。
- この年 波平区・木造茅葺きの行政事務所を建設する。
- この年 村民、波平と高志保地域に仮住いをする。
- 1月13日 喜名初等学校設立が認可される。
- 2月1日 戦後最初の公選村長選挙で松田平昌が当選する。
- 3月15日 第1回読谷村議会が開催される。
- 3月27日 古堅中等学校で戦後第1回目の卒業式が挙行される。卒業生、男子43名、女子48名、計91名が巣立つ。
- 4月 渡慶次字事務所を渡慶次167番地に新築。
- 4月1日 全琉で六・三・三制へと学制改革され「教育基本法」「学校教育法」が公布される。
- 4月2日 喜名初等学校木造茅葺き校舎4棟12教室(180坪)と職員室木造トタン葺1棟(15坪)を竣工。
- 4月6日 喜名初等学校開校式。知事代理で文教部長山城篤男が臨席。生徒数、初等学校486人、中等学校158人、職員数は初等校10人、中等校5人、書記1人であった。
- 4月8日 読谷中等学校開校式が行われる。
- 4月15日 建設隊感謝状贈呈及び移動完了祝賀会が催される。
- 5月 喜名区、区内で戦死した兵士の遺骨を集め「梯梧之塔」を建立する。
- 5月18日 渡慶次、儀間両部落への立退命令により家屋の撤去作業が開始される。
- 6月 渡慶次区、高志保、瀬名波への立退き後、行政班の改正を行い、事務所を高志保381番地に移転する。
- 7月10日 瀬名波部落住民の移動が完了する。
- 7月12日 高志保ウフカー「大井戸」の西側に宇座区事務所が完成する。
- 7月15日 宇座区、他の地域から移動、その移動完了祝賀会を高志保ウフターの南側広場で開催する。
- 7月16日 第3次通貨交換が実施され、全琉がB円に統一される。
- 8月15日 コザ高等学校喜名分校(読谷高等学校) 仮校舎茅葺3棟6教室を建築落成する。
- 8月20日 波平部落の移動が完了。
- 9月9日 コザ高校喜名分校の開校式が行われる。生徒はコザ高等学校、石川高等学校、前原高等学校、宜野座高



12 那覇読谷間に埋設された送油管



13 瓦葺きの頃の読谷村役場



14 台風被害で茅刈をする生徒



15 新設された読谷高等学校

等学校に在学する読谷、嘉手納出身の1、2年生が転校する。

- 11月 渡慶次区で戦後第1回目の5歳以下と定めての出産祝賀会を催す。
- 11月3日 読谷高等学校、生徒自治会及び校友会を結成する。
- 12月5日 喜名部落の移動が完了。

1949（昭和24）

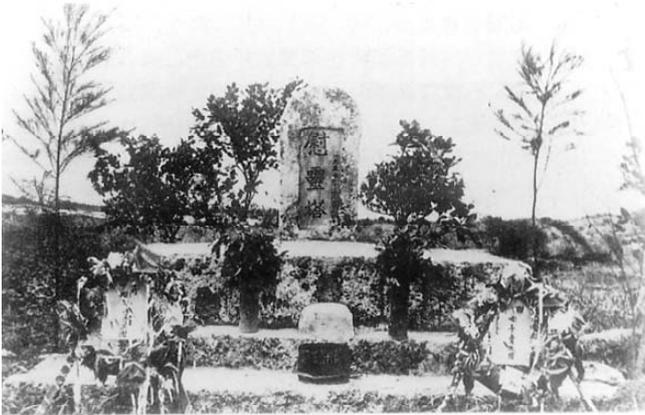
- この年 米陸軍是那覇、読谷間に送油管の埋設工事を始める。工事期間は1956年まで。
- 1月 渡慶次土地整備に関する一筆限調書を縦覧。
- 1月24日 喜名高校独立準備会を設立。
- 2月1日 読谷高等学校、喜名分校保護者会を設立する。会長に嘉手納初等学校長喜友名朝哲が選任される。
- 3月1日 伊良皆旧部落への居住が不許可となる。
- 3月8日 戦没者遺骨交付式。
- 3月25日 喜名小学校の第1回卒業式が催される。
- 3月27日 楚辺診療所設置のため漢那診療所を移築する。
- 3月31日 読谷高等学校、第三学年の設置が認可される。
- 4月 読谷小学校六・三・三制実施 初等部六年、中等部三年の併置校独立校となる。
- 4月 渡慶次小学校の校区変更。校区は渡慶次、儀間、宇座、瀬名波、長浜の五か部落となる。
- 4月4日 村役所を旧工務課敷地（現在地）に移転。
- 4月18日 読谷、渡慶次、喜名各併置中等学校を統合し読谷中学校とする。
- 4月30日 読谷村復興会設立総会が開催される。
- 5月 伊良皆区移動により喜名学区が4か部落（喜名、座喜味、親志、伊良皆）となる。
- 6月10日 読谷中等学校後援会を設立。
- 7月 渡慶次復興会を設立。
- 7月23日 グロリア台風襲来し学校・公民館・民家の多くが倒壊する。
- 8月24日 伊良皆部落立退命令が出される。
- 8月25日 読谷高等学校、現在敷地へ校舍引越し完了する。
- 10月 読谷小学校敷地の地均し作業を実施。
- 11月2日 都屋区居住許可の指令を受ける。
- 11月10日 戦没者の遺骨250柱の交付式を行う。
- 12月20日 ララ（アジア救済連盟）からの寄贈山羊（アルパイン種）30頭を受領する。

1950（昭和25）

- この年 木造瓦葺きの波平区事務所を建設する。
- 1月20日 宇座北浜屋原の排水溝及び橋梁「巻缸」工事の施行。
- 3月12日 第1回ハワイ観光団来沖する。
- 3月15日 長浜部落移住許可される。
- 3月18日 読谷高等学校喜名分校、第1回卒業式。卒業生、男子20名・女子26名、計46名。
- 3月25日 琉球諮詢委員に比嘉秀平ら5人が任命される。
- 4月 沖縄バスの読谷線が開通する。
- 4月4日 役所事務所の建築が完了。
- 4月5日 読谷高等学校、政府割当校舎1棟2教室が竣工落成する。
- 4月7日 コザ高等学校の分校より、読谷高等学校として昇格独立が認可され、入学式及び始業式が行われる。
- 4月18日 読谷高等学校の校章を制定する。
- 6月20日 都屋部落移動が完了する。



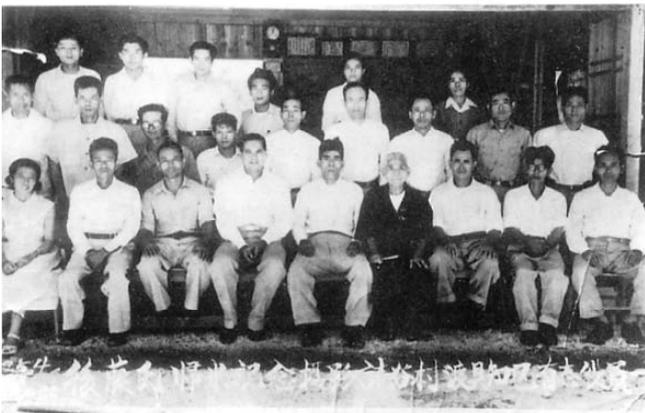
16 渡慶次区の獅子



17 宇座ヤーガーに慰霊碑を建立



18 在那覇読谷村人会で挨拶する比嘉主席



19 後藤土地系の帰米記念撮影

- 6月20日 役所に消防車が配車される。
- 7月 渡慶次、儀間2か字で竈を再建する。
- 7月14日 戦没者遺骨交付式で37柱の遺骨が交付される。
- 8月 渡慶次区、旧六月二十五日を偲んで戦後初の角力大会を開催する。
- 9月 渡慶次区、旧八月十五日夜の時に獅子・竈の完成祝賀会を催す。
- 9月3日 村長選挙投票、無投票で当山真志が当選する。
- 9月5日 宇座区、沖縄戦で犠牲になったヤーガーの遺骨を収骨し、慰霊碑を建立合祀、招魂碑を建立してその霊を合祀する。
- 9月10日 読谷高等学校、単位制を実施し新制高等学校の教育体制になる。
- 10月28日 読谷高等学校、第1回同窓会を開催する。
- 11月24日 ライト・高原社会事業部長が救済状況調査。
- 11月25日 戦後第1回目の国勢調査が実施される。
- 12月29日 渡慶次区において忠魂碑の除幕式及び第1回慰霊祭を開催する。

1951（昭和26）

- この年 楚辺に区民図書館の前身、青年会文庫が発足する。
- 2月 農業センサス調査がなされる。
- 3月1日 村内土地所有権の縦覧が開始される。
- 3月11日 社大党読谷村支部が結成される。
- 3月19日 読谷高等学校、第1回卒業式が催される。
- 3月19日 沖縄群島議会で日本復帰要請が決議される。
- 4月1日 琉球臨時中央政府が発足。主席に読谷村大木出身の比嘉秀平が着任する。
- 4月3日 宇座区、学事奨励会を結成する。
- 4月13日 土地所有権証明書交付が開始される。
- 4月23日 消防隊基金募集のため阿波連舞踊団の演劇を上演する。
- 4月28日 読谷劇場で比嘉秀平主席、比嘉秀伝労務委員の就任祝賀会を催す。
- 5月 渡慶次老農会が発足する。
- 5月1日 後藤軍土地係来村、伊良皆、比謝、大湾の移住を口約する。
- 5月1日 読谷郵便局に電話が開通、貯金事務を開始する。
- 5月1日 伊良皆、比謝、大湾に居住許可が下りる。
- 5月28日 後藤土地係来村し渡具知、渡慶次両部落の移住許可の口答がある。
- 5月28日 米軍、渡具知部落への居住許可を受け、渡具知住民6年ぶりに郷里へ移住する。
- 9月 ハワイ沖縄県人連合会が発足する。
- 9月8日 全島高校排球大会において読谷高等学校女子チームが優勝を飾る。
- 10月2日 農業協同組合の設立総会が開催される。
- 10月6日 後藤土地係来村し比謝、大湾の旧1号線（国道58号線）東側の建築中止の命令あり。
- 11月2日 割当土地賃料料評定委員会が設立される。
- 11月22日 中部税務署主催により村役所において村内優良部落の表彰式行われ、喜名区他18区が表彰を受ける。
- 12月 渡慶次養豚組合が発足。
- 12月16日 宇座区、諮詢委員制度より区政委員会に改革する。

1952（昭和27）

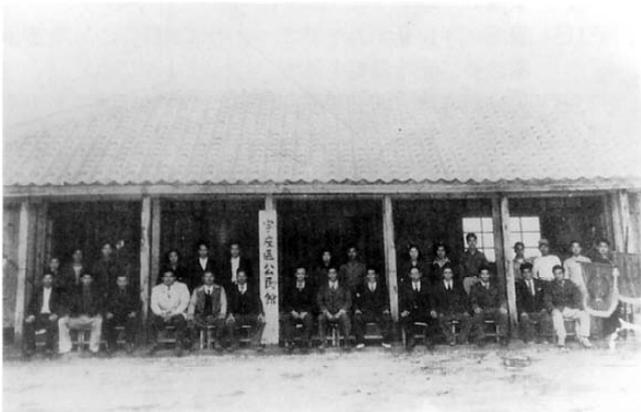
- この年 長浜区、子供遊び場を造る。



20 瓦葺きの頃の波平公民館



21 八重山移住地の米原集落



22 瓦葺きの頃の宇座公民館

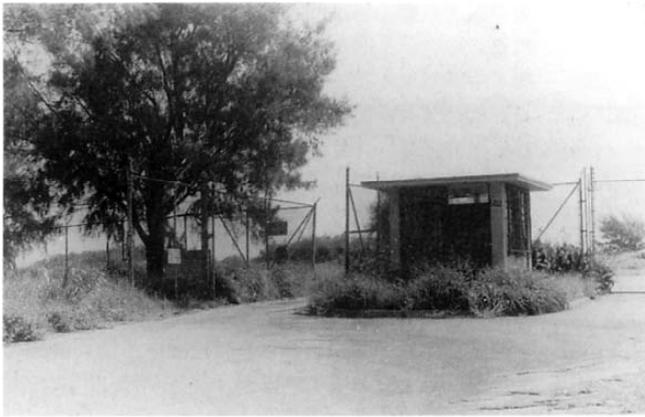


23 長田にあった読谷高等学校の茶園

- この年 波平区で八重山移民団への衣服更正の講習会がもたれる。
- この年 第1回赤ちゃんコンクール。
- この年 公民館設置要綱に基づき、波平区事務所を波平公民館に改称する。
- 1月 渡慶次部落への移動許可が下り、移動許可にともない青年会による敷地の整備作業始まる。
- 2月14日 後藤土地係来村、トリイ通信施設建設のため楚辺・渡具知区への立退命令が出る。楚辺区において緊急協議会を開催する。
- 2月17日 宇座区、戦時中の避難地、国頭村字辺土名、伊地、桃原、比地、宜野座村字漢那、金武村仲川の6か所へ謝礼に行く。
- 3月 琉球教育法により区教育委員会を設置する。教育長に瑞慶覧朝牛（中央教育委員会任命）委員に喜友名正謹（村長）、知花英夫、山城亀吉、知花弘治、新崎晶、会計係に宮本万次郎が選任される。
- 3月3日 立法院議員選挙開票があり、当山真志当選する。
- 3月12日 当山真志村長を辞任する。
- 3月21日 渡具知住民、移動完了。
- 4月1日 教育法の改正により、琉球政府創立の村内初等学校を小学校に、中等学校を中学校に改称する。
- 4月1日 琉球政府が発足、初代行政主席に比嘉秀平が任命され、創立式典が琉球大学で挙行される。
- 4月30日 村長選挙、無投票で喜友名正謹が当選する。5月15日、就任する。
- 5月1日 戦後、第1回目のメーデーで行われる。
- 5月10日 宇座区、青年倶楽部及区事務所建築する事を決定。
- 6月1日 読谷高等学校区教育連合委員会が設立。
- 6月8日 知花英康寄贈による読谷高等学校校旗の樹立式及び校舎落成祝賀式を挙行する。
- 6月14日 読谷村社会福祉協議会設立される。
- 7月20日 読谷中学校PTA（父兄と先生の会）誕生。
- 8月7日 波平区において八重山移住者懇談会開かれる。
- 8月22日 第1回八重山開拓団出発。
- 9月21日 渡具知旧部落への移動完了。
- 10月29日 第1次八重山開拓団家族、渡具知港を出発する。
- 11月10日 木造赤瓦葺の宇座公民館が落成する。
- 11月17日 村長八重山移住地実地調査のため出発する。
- 11月22日 立法院行政法務委員、軍用地調査のため来村する。
- 12月 渡慶次夜警団が発足。

1953（昭和28）

- 1月12日 「市町村自治法」が制定される。
- 1月18日 沖縄諸島祖国復帰規制会が再発足。第1回祖国復帰県民総決起大会が開催される。
- 1月31日 読谷高等学校、茶園2段歩の開墾作業及び播種を終了する。
- 2月24日 ポーローポイント飛行場拡張工事の中止陳情のため行政側と関係区長とで行政主席を訪問する。
- 2月27日 宇座地内軍用地、米軍と賃貸借契約を決定。宇座公民館前道路の新設工事完成。
- 3月18日 渡具知部落立ち退き中止に関する請願書を提出。
- 3月23日 軍用地料「講和発効前は軍査定通り、発効後は再査定」と発表する。
- 4月3日 米国民政府、布令一〇九号「土地収容令」を公布。
- 4月30日 ポーロー飛行場拡張中止について議員協議会。



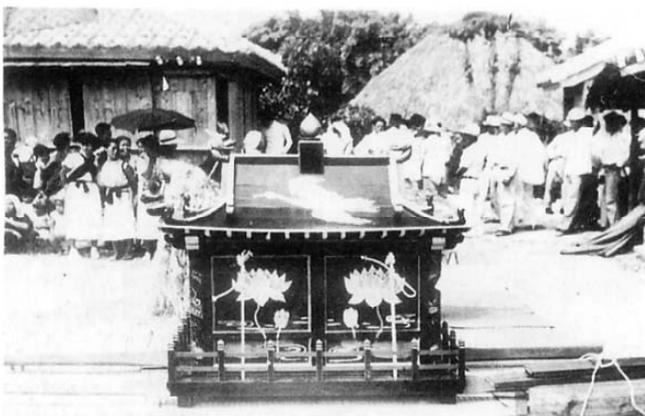
24 渡具知集落は再度基地に接収される



25 読谷高等学校バスケット部



26 座喜味の南米移民壮行会



27 再建された波平区の龕

- 5月21日 立法院土地特別委員がポーロ飛行場及び渡具知視察のため来村する。
- 6月 渡慶次区・ポーロ飛行場拡張阻止を行政主席に陳情する。
- 6月4日 主席、副主席内政局長、警察局長ポーロ飛行場実情調査のため来村する。
- 6月6日 読谷村遺族会が結成される。
- 8月14日 渡具知部落立退指令を受ける。
- 9月1日 読谷村臨時議会において、米国民政府土地係官、渡具知部落立退きに応じない時は「土地収容令」を適用する旨言明され「渡具知区緊急戸主会」を開く。
- 9月12日 渡具知戸主会においてやむをえず立退きを決める。
- 9月17日 渡具知移動地について比謝大湾関係地主と懇談。
- 9月18日 米軍、渡具知部落移住先の比謝西原の整地に着工する。
- 11月 沖縄諸島祖国復帰促進協議会が結成。
- 12月 渡慶次区、養豚組合を解散し家畜組合を設立する。

1954 (昭和29)

- 1月 読谷小学校運動場の埋立・地均し工事を中部土木出張所が施工(工期68日間)
- 1月 4月にかけて渡具知住民、比謝西原に移住。
- 1月7日 アイゼンハワー米大統領、年頭の一般教書で沖縄を無期限に管理すると言明する。
- 1月13日 読谷村復興五か年計画樹立委員会が村内を視察。
- 1月13日 渡具知戸主会、移住先地の区画を協議。
- 1月25日 全島高校新人籠球大会に於て読谷高等学校の男子チーム優勝を飾る。
- 2月10日 定例議会において読谷村経済振興五か年計画樹立を決議。
- 2月21日 名小学校PTAを結成し、初代会長に山城亀吉、副会長に金城清純を選任。
- 2月23日 当山真志氏立法院議員立候補、土木事務所で楚辺農耕禁止対策協議会を開く。
- 3月9日 村役所にて戸籍整備事務講習会が開催される。
- 5月18日 村役所に電話が開通する。
- 5月20日 オグデン副長官・プラムリー民政官が渡具知部落視察のため来村。
- 6月10日 南米ポリビア及び八重山移民壮行会が催される。
- 6月18日 八重山移住へ泊港より出発。
- 6月19日 第1次南米ポリビア移民団が出発。
- 6月29日 比嘉主席、仲村警察局長・文教局職員を伴い、読谷の各学校及び巡査派出所を巡視する。
- 6月30日 読谷高等学校に軍情報教育部ハークネス氏の斡旋によりタイプ22台が譲渡される。
- 7月 整地された渡慶次公民館敷地に高志保より茅葺き事務所を移転する。
- 7月4日 波平区、龕・獅子の建造について承認される。
- 7月18日 第2次南米ポリビア移民団が出発。
- 9月10日 宇座区畜産組合が結成する。
- 9月30日 琉球政府行政課長が1号線(国道58号線)東の立退者の件で来村する。
- 11月11日 沖縄傷痍軍人会読谷支部の発会式が開催される。
- 11月29日 読谷村渡具知の旧楚辺サルページ・ヤード421,200坪(351エーカー)の農耕が許可される。
- 12月 渡慶次農事実行組合が発足。
- 12月20日 八重山野底地区へ入植した先遣隊の家族42世帯192



28 瓦葺きの頃の比謝公民館



29 県指定有形文化財の座喜味城跡



30 新しく仕立てた古堅区の獅子



31 現在地に再建立された梧之塔

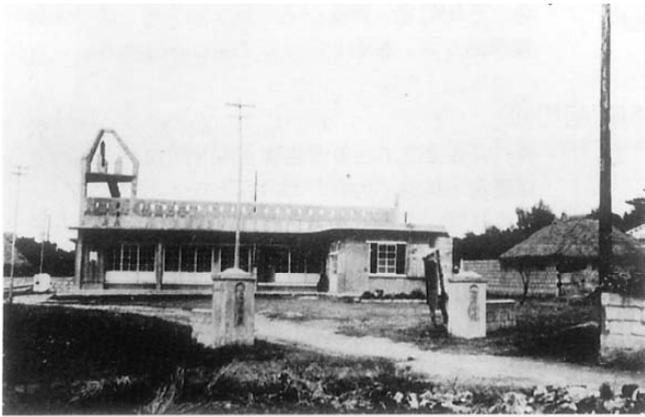
名（石川42名、美里22名、具志川27名、読谷80名、嘉手納6名、那覇5名）が泊港を出発する。

1955（昭和30）

- 1月17日 軍用地に大部分の耕地を割かれた読谷村の振興策を計るため、経済局が村当局と現地で協議会開く。
- 2月6日 読谷沖映にて布哇農業研究青年の発表会が開催される。
- 3月 読谷小学校PTAが設立。（同時に学校後援会は解散）初代会長に知花英夫、副会長に比嘉寅吉が就任。
- 3月2日 読谷村楚辺区区長はほか数名の代表者が政府を訪れ立退後の生活保障策について陳情。
- 3月26日 波平農事実行組合が結成される。
- 4月8日 八重山移民開拓団が出発。
- 4月13日 那覇劇場で全島軍用地主大会が開催される。
- 4月19日 副主席・工務交通局長・経済企画室長・社会局次長・経済局次長・開拓課長・土木課長・主席秘書軍用地調査のため来村。
- 7月22日 伊良皆、古堅、渡具知の井戸竣工検査がなされる。
- 9月 渡慶次区、ポーロー飛行場の農耕証明書発行。
- 10月25日 行政主席はじめ米国土地調査委員一行が軍用地調査のため来村。
- 11月9日 八重山第3回移民家族が出発する。
- 12月7日 楚辺農耕許可される。
- 12月12日 パーチャー主席民政官、比嘉主席楚辺区民激励のため訪れる。
- 12月18日 第3次南米ポリビア移民団が出発。
- 12月18日 読谷高等学校、創立五周年記念式典展示会を開催する。

1956（昭和31）

- この年 比謝公民館が落成する。
- 1月18日 古堅土地開放の件で法務局の仲本が来村。
- 2月20日 座喜味城跡、県指定有形文化財（建造物）となる。
- 2月21日 喜友名正謹村長辞任。
- 3月11日 立法院議員選挙投票日、無投票で喜友名正謹が当選。
- 3月13日 比謝川配電により点灯が開始される。
- 4月8日 村長選挙投票日、無投票で伊波俊昭が当選。
- 6月12日 民政府会議室において読谷村軍用地訴願審理裁定がなされる。
- 6月20日 軍用地問題解決促進村民大会が開催される。
- 7月2日 村広報誌「読谷村便り」創刊号を発行する。
- 7月7日 波平大当原復元補償の請求事務が終る。
- 7月8日 製糖工場敷地の測量がなされる。
- 7月15日 喜名区、「梧之塔」が基地内のためを同塔を現在地に移築し、除幕式及び慰霊祭を催す。
- 7月19日 読谷村土地を守る全結成準備委員会が開催される。
- 7月27日 嘉手納地区警察署管内の防犯協会の発会式が嘉手納中学校において開催される。
- 7月29日 古堅区獅子再誕生及び農道整備祝賀会を催す。
- 8月4日 読谷村土地を守る会結成大会が催される。島ぐるみ土地闘争・四原則貫徹で参集人員約3,000を数える。
- 8月11日 読谷村新生活運動協議会発会式が行われる。
- 9月14日 高志保公民館において読谷村農業会の解散総会。
- 9月18日 行政主席台風被害状況の視察のため来村。
- 10月4日 戸籍認定のため法務局民事課長来村。
- 10月5日 琉球政府文化財保護委員、座喜味城跡の実地調査行



32 旧渡慶次公民館



33 新しくなった読谷村役場庁舎



34 渡慶次校区青年会建立の鎮守之塔



35 波平区公民館の落成祝い

- 10月25日 琉球政府行政主席比嘉秀平急逝する。これについて村議会議員、各区長、各学校長の協議会を開催する。
- 10月29日 琉球大学校庭において琉球政府行政主席比嘉秀平の政府葬が営まれる。
- 10月30日 生活改善グループ育成指導懇談会を開催。
- 11月18日 渡慶次公民館新築落成祝賀会が催される。
- 11月24日 楚辺公民館落成、伊波村長当選祝賀会を開催する。
- 12月6日 読谷子供を守る会の発会式が行われる。
- 12月12日 パージャー民政官村有地調査のため来村。

1957 (昭和32)

- この年 宇座区、講和発効前の物件補償の請求書を提出。戦時中の割舟補償の調査を行う。
- 1月16日 振興計画立案進捗状況調査のため企画室長、企画課長が来村。
- 3月30日 役所庁舎落成式が催される。
- 4月4日 旧役所事務室より新庁舎に移転する。
- 4月6日 大木区公民館祝賀及び水道施設工事完了祝賀会が催される。
- 4月18日 読谷沖映においてハワイ観光団村出身者11名の歓迎会が催される。
- 5月29日 米国防省が沖縄にナイキ基地を建築中と発表する。
- 6月20日 布令一六四号告知第一三号で本村新規接収の通告を受ける。
- 7月13日 村会議室において村土地を守る会の役員及び村有志により、土地問題に対する懇談会を開催する。
- 7月30日 コザ保健所において衛生優良村として主席から表彰を受ける。
- 8月23日 土地連合会役員・立法院議員、ナイキ基地を調査。
- 8月31日 日青連代表団が来村。
- 8月31日 渡慶次校区青年会の主催で鎮守の塔において慰霊祭が催される。
- 9月8日 高志保、護永の塔の除幕式がもたれる。
- 9月20日 民政府、ナイキ基地関係14か町村長・政府各局長・立法院土地特別委各団体代表70名を招き、ナイキ誘導弾兵器説明会を開く。
- 11月17日 村青年会第1回駅伝大会 読谷校区が優勝する。
- 12月25日 村役場より『村の歩み』発刊される。
- 12月29日 波平公民館新築落成祝賀会が催される。村内では最初の鉄筋コンクリート建ての公民館である。

1958 (昭和33)

- 1月30日 全島14か町村にわたるナイキ基地、定期賃借権から限定付土地保有権に改定される。
- 2月6日 講和発効前見舞金支払が始まる。(北部)7日(中部)8日(南部)
- 3月4日 農林省門馬農林技官・高江州種畜場長・当山畜産課長牧野現地調査のため来村。
- 3月24日 瀬名波公民館においてナイキ基地上物件補償費支払がなされる。
- 4月17日 都屋沖の沈没船が爆発する。
- 4月23日 役所会議室において三帰還者調査が行われる。
- 4月24日 役所職員・各学校生徒他村民多数が1号線(国道58号線)通過の「聖火リレー」を歓迎する。



36 沖縄赤十字病院の健康診断



37 旧儀間公民館



38 バスターミナルが開所



39 落成した村民会館

- 5月1日 宇座公民館改築振興5か年計画を樹立、村から交付される戦災部落復興助成金「無地番賃貸借料」は公民館改築資金積立に決定する。
- 5月11日 波平公民館において知花立法院議員の当選祝賀会及び村共進会における優勝旗獲得祝賀会が行われる。渡慶次・長浜・大木で母の会催される。
- 5月23日 座喜味河川堤塘、高志保農道、宇座橋梁の各工事竣工検査がなされる。
- 6月 読谷小学校敷地の約776坪を購入(坪単価120円)。
- 6月28日 高志保公民館で赤十字病院の無料診断が行われる。
- 7月7日 波平公民館において波平自警団の表彰式が行われる。
- 7月9日 伊良皆簡易水道への通水始まる。
- 7月19日 読谷沖映において屋良朝苗の沖縄タイムス賞授賞祝賀会が開催される。
- 8月15日 戦闘参加者調査事務説明会が役所で催された。
- 8月17日 古堅農道水道完成祝賀会が催される。
- 9月16日 B円からドルへ通貨切替がなされる。
- 10月19日 第6次南米ポリピア・第5次南米ブラジル青年移民団29名が出発。
- 10月25日 儀間公民館落成祝賀会が催される。
- 10月27日 比謝川暫定ダム設置について読谷・嘉手納両村長、議会議長協議を行う。
- 11月 南米移民の募集。戦時中の徴用馬車の損失調査がなされる。
- 11月 明るい健康な村をめざし、ツベルクリン反応・レントゲン集団検診(第1回)を実施する。
- 12月6日 製糖工場の試運転が行われる。

1959(昭和34)

- 1月 渡慶次区、第1回生年合同祝賀会を開催する。
- 1月24日 比謝区、畜産組合を結成する。
- 2月25日 緑化運動推進協議会が設立する。
- 3月11日 大田副主席、天野林務課長緑化運動促進のため来村。
- 3月20日 読谷バスターミナル開所式。
- 4月6日 村有地境界確認を行う。
- 4月19日 南米ポリピア移民団出発する。
- 4月30日 村育英会の設立総会が開催される。
- 5月25日 喜名区、「さくらの塔」を建立する。
- 6月1日 村民会館が落成する。
- 7月1日 立法院で祖国復帰、原水爆基地反対を決議する。
- 8月12日 宇座区、戦後始めて盆踊りエイサーを行う事を決める。
- 8月24日 村営火葬場が落成する。
- 9月11日 民政府へ都屋簡易水道の完成のお礼へ行く。
- 10月2日 比謝川の仮ダムの件で首席民政官アンドリック准将の召集により読谷、嘉手納両村長、知花立法院議員政府へ行く。
- 10月8日 米陸軍、沖縄の基地でナイキ発射実験を行うと発表する。
- 10月15日 ナイキハーキュリーズ発射実験阻止協議会(議会議員・区長・青年会各区青年会長)を開催する。
- 10月31日 残波岬にて米陸軍第97砲兵隊、ナイキハーキュリーズの第1回発射実験を実施する。
- 11月9日 プース高等弁務官、第2回ナイキハーキュリーズ公開発射実験に琉球政府及び民間団体の指導者と報道陣及び海外新聞特派員を招待する。



40 座喜味城跡にあったアンテナ基地



41 親志公民館



42 村遺族会婦人部がミシンを共同購入



43 旧伊良皆公民館

- 11月21日 琉球政府官房長ナイキ発射状況の調査で来村。
- 12月9日 長浜、瀬名波、渡慶次簡易水道施設への弁務官資金交付のため民政府経済開発部長ゼイムスAロン博士が来村。
- 12月12日 座喜味青年会13周年記念祝賀会が催される。

1960 (昭和35)

- この年 座喜味城跡に米軍アンテナ基地が建設される。
- 1月22日 渡慶次小学校、パン給食を実施する。
- 2月 村内煙草乾燥場が完成する。
- 3月11日 ホークミサイル基地予定の長浜吹出原及び武理石原の現地調査、長浜区民集会において説明会を行う。
- 3月16日 ホークミサイル基地接收予定地の長浜吹出原一帯の現地調査のため立法院議員が調査のため来村。
- 3月27日 村長選挙、無投票で知花成昇当選する。
- 4月1日 役所職員むつみ会発会する。
- 4月2日 読谷高等学校の政府移管式が催される。
- 4月7日 米軍の命により宇座残波岬地域が戦闘機の射撃演習場となるため墳墓が撤去される。
- 4月9日 知花成昇、第14代村長に就任。
- 4月13日 村民会館において第10次南米ポリビア移民団(13戸84人)の壮行会が催される。
- 4月28日 沖縄県祖国復帰協議会結成なる。
- 6月19日 アイゼンハワー米大統領来沖。祖国復帰県民総決起大会とデモが行われる。
- 6月21日 港湾施設の審議委員会が都屋港調査のため来村。
- 7月2日 宇座の南米ブラジル開拓移民壮行会を公民館において開催。
- 7月13日 村民会館においてブラジル移民(カツペン)壮行会が催される。
- 8月4日 村遺族会婦人部がミシンの共同購入を行う。
- 8月26日 緑化優良村として表彰を受ける。
- 10月13日 アンドリック主席民政官民情視察のため来村。
- 10月15日 親志公民館落成祝賀会が催される。
- 10月31日 楚辺通信隊前において6号線舗装工事の起工式を挙行する。
- 11月2日 渡慶次戦没者慰霊祭、靖国神社坂本総務部長・三好官掌が参列する。
- 11月27日 楚辺慰霊の塔除幕式及び慰霊祭を催す。
- 12月1日 全琉一斉に国勢調査が実施される。

1961 (昭和36)

- この年 伊良皆公民館が落成する。
- この年 村青年連合会を村青年団協議会に名称変更する。
- 1月10日 ナイキ発射演習について協議会開催される。
- 1月13日 ナイキ発射演習実施される。
- 1月15日 長田茶業組合総会が開催される。
- 1月22日 読谷高等学校10周年記念式典を催す。
- 2月1日 立法院、施政権返還要請を全会一致で決議する。
- 2月3日 都屋港浚渫工事測量を開始する。
- 3月13日 米空軍、「沖縄にメースB基地4か所を建設」を発表する。瀬名波サイトにもIRBM中距離弾道ミサイル8基が配備される。
- 4月8日 本村職員労働組合の結成大会が開催される。
- 4月28日 祖国復帰県民大会に6万人が参加。
- 5月21日 牧原移動敷地の地鎮祭が執り行われる。
- 6月12日 嘉手納沖映において嘉手納電報電話局開局式が行わ



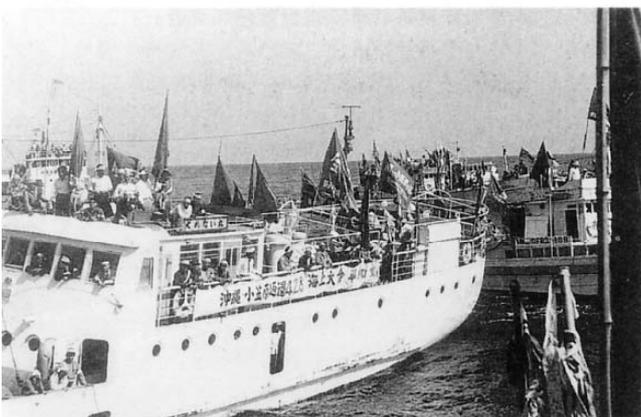
44 聖地を終えた新牧原集落地



45 新築になった宇座公民館



46 大湾青年会の果樹園奉仕作業



47 北緯27度線での洋上交歓

- 6月23日 村民会館において読谷郵便局新築移転、喜名郵便局開局祝賀会が催される。
- 6月25日 渡慶次小学校、創立60周年記念式典を挙げる。
- 7月1日 村、敬老年金制度を実施する。
- 7月11日 キャンプコザのマリン隊による牧原移動地の整地作業が開始される。
- 8月5日 自治省長野・松島両課長行財政調査で来村。
- 9月6日 村内各公民館に電話が開通する。
- 11月15日 役所新庁舎着工。
- 11月20日 保健所開所10周年記念式で本村が優良村として表彰を受ける。
- 12月22日 喜名公民館の落成祝賀会が催される。
- 12月23日 6号線舗装道路開道式が執り行われる。古堅区民公民館落成式が催される。

1962 (昭和37)

- 1月1日 米軍より法定祝祭日における公共建築物等での日の丸掲揚が許可となる。
- 1月21日 伊良皆公民館落成及び移動10周年記念祝賀会が催される。
- 2月12日 第14、15次南米ポリビア移住者壮行会が催される。18日出発。
- 2月20日 古堅小学校運動場の埋立工事が完了。
- 2月22日 本村議会、全国町村議会議長会から表彰を受ける。
- 3月21日 都屋漁港浚渫工事が竣工する。
- 5月15日 村役場より『村治十五年』発刊される。
- 5月29日 村庁舎増築工事竣工。
- 6月7日 古堅中学校独立移転期成会を結成する。
- 6月17日 村体育協会主催の第1回マラソン大会を開会する。
- 8月23日 長浜河川堤塘工事竣工の検査を実施する。
- 9月16日 読谷小学校にて第1回陸上競技選手権大会が開催される。
- 9月27日 村選挙管理委員会優良選管委として中央選管から表彰を受ける。
- 10月22日 知花成昇村長が辞任する。
- 11月17日 楚辺新部落移動10周年記念祝賀会が催され、『記念誌』発行される。
- 11月23日 琉球予防協会10周年記念式典において本村が表彰を受ける。
- 12月9日 池原昌徳(現収入役)が村長に無投票当選。
- 12月25日 宇座公民館改築完成合同祝賀会を行う。

1963 (昭和38)

- この年 黙認耕作地内の親志砂良原に果樹園開く。大湾青年会が雑木整理奉仕作業をする。
- 1月10日 嘉手納中学校中庭において、嘉手納村における米軍飛行機墜落事故抗議大会が開催される。
- 1月16日 古堅中学校新敷地への移転認可される。
- 3月4日 第17次南米移民壮行会を開催。19日出発。
- 4月3日 古堅中学校敷地の整地工事を琉米親善委員会の協力により伊佐浜駐屯の第三マリン第三補給大隊が奉仕作業する。
- 4月28日 祖国復帰県民総決起大会、北緯27度線で本土側と沖縄側との初の洋上交歓が実現する。
- 5月25日 都屋港に舟揚場(漁船数41隻)を竣工する。
- 6月3日 6月3日 農協楚辺支所が開所する。



48 読谷村農協本所が落成



49 東京オリンピックの聖火リレー



50 棚原隆子圧殺事故県民抗議大会



51 宇座守の塔を建立

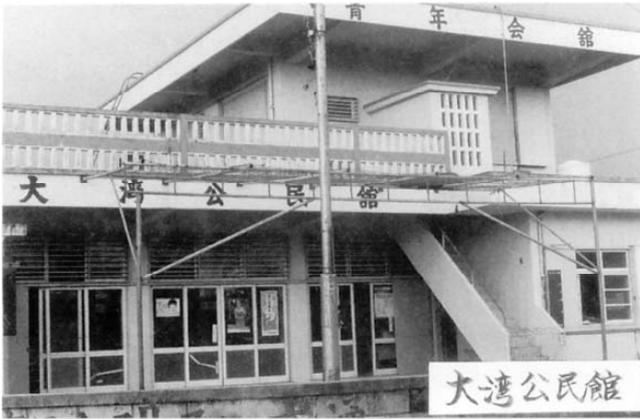
- 7月 波平区、戦後復興15周年事業として鉄筋コンクリート2階建て図書館を建設する。
- 11月 青年学級が開校する。勤労青年を対象に一般教育・技術・音楽体育の講座が開かれる。
- 11月15日 ナイキ発射演習が始まる。
- 12月16日 農協新庁舎落成祝賀会が催される。

1964 (昭和39)

- 3月20日 字伊良皆に喜名校区から古堅小学校区への変更が認可される。
- 5月9日 古堅中学校新敷地への移転分離式を古堅小学校で行う。但し、教室不足のため一年生は小学校敷地の7教室で、二・三年生は新庁舎で授業が行われる。併せて、都屋区生徒41名の受入式を同敷地で挙行。生徒数623名、職員数22名。
- 5月19日 村老人クラブ結成大会を開催する。
- 5月25日 読谷山花織復興についておばあさんらを集め懇談会を開く。
- 7月11日 京都大学中南米研究会の一行4名が沖縄の移住母村研究で瀬名波を調査する。
- 7月17日 村身体障害者結成大会開催する。
- 8月28日 キャラウェイ高等弁務官より感謝状を受ける。
- 9月9日 オリンピック東京大会聖火リレーが村内を通過する。
- 10月5日 多幸山果樹園の道路整備始まる。
- 10月9日 喜名小学校校歌(作詞 知花寺次郎・作曲 高江洲良吉氏)を制定。
- 10月21日 日本民謡沖縄調査団一行が来村。
- 11月5日 農林省上条技官が果樹園視察のため来村。
- 11月7日 村青協、全沖縄体育大会の開会式で優良体育団体として表彰を受ける。
- 11月18日 村青協女子バレー部、第16回全国青年大会へ派遣される。

1965 (昭和40)

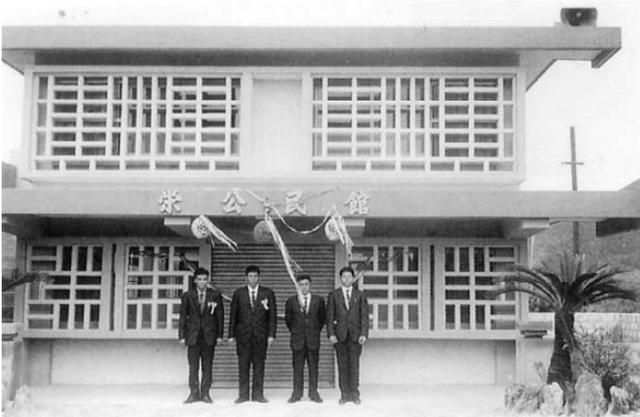
- 2月14日 世界保健機構許秋顧問、本村の衛生状況を視察。
- 4月 村議会より『読谷村議会会報』第1号が発刊される。
- 4月2日 古堅中学校、旧校地からの移転完了。
- 4月5日 軍用地内の果樹園経営が許可される。
- 4月13日 琉球政府経済局より多幸山果樹園調査のため来村。
- 5月19日 旧古堅学校敷地古堅区払い下げ協議会が開催される。
- 6月10日 米軍パラシュート演習のトレーラーの投下により、棚原隆子ちゃん圧殺される。
- 6月12日 米軍演習事故対策協議会が結成する。
- 6月15日 トレーラー落下事故に対して池原村長・議長・村内団体長らがコブ副民政官・嘉手納基地司令官へ抗議。
- 6月18日 喜名小学校において棚原隆子ちゃん事件の県民抗議大会が開催される。
- 7月4日 読谷村で最初の児童福祉施設、読谷保育所の開所式が行われる。初代園長に古堅宗光、乳・幼児34名が入所する。
- 8月15日 宇座区、慰霊碑「宇座守の塔」を建立。
- 8月18日 トレーラー事故で死亡した棚原隆子ちゃんに対して米軍は賠償金を支払う。
- 8月19日 佐藤首相が沖縄を訪問、「沖縄の祖国復帰が実現し



52 大湾公民館が落成



53 各学校に送られたクリスマスプレゼント



54 八重山移住地の栄公民館が落成



55 古堅中学校のプール

ないかぎり、日本にとって戦後は終わっていない」と声明。

- 9月1日 古堅幼稚園が公立幼稚園として認可される。
- 9月14日 第1回読谷村老人クラブ連合会大会が開催される。
- 9月19日 「宇座守の塔」の除幕式が挙行される。
- 10月24日 牧原公民館が落成、祝賀会が催される。
- 12月10日 第5回沖縄市町村大会において優良村として表彰を受ける。

1966（昭和41）

- 1月18日 楚辺の比嘉文枝（前比屋久）、松田ウシ（次郎松元新屋）の読谷山花織が日本民芸展で入選する。
- 1月28日 米軍、読谷村ポロ・ポイント（残波岬）に、行政府首脳、立法院議員、中部市町村長、来島中の自衛隊員、報道陣招き、ナイキ・ハーキュリーズの発射演習を公開。
- 6月11日 宇座体育協会結成される。
- 7月23日 村農協創立20周年、百万ドル達成家の光文化賞受賞祝賀会を催す。
- 9月1日 渡慶次小学校、完全給食室が落成する。
- 10月10日 渡慶次幼稚園園舎4棟が落成する。
- 10月23日 大湾公民館が落成する。
- 10月30日 第3回中頭郡陸上競技大会（嘉手納村総合グラウンド）において男子優勝女子2位、総合2位の成績を残す。
- 11月18日 村長選挙、無投票池原昌徳現村長が再選。
- 11月29日 落下傘事故、重さ8.5キロの風速測定用角材が座喜味の民家の屋根をぶち抜く。
- 11月30日 長浜公民館が完成する。12月10日に祝賀会を催す。
- 12月19日 琉米親善委員会よりクリスマスプレゼントとして村内学校に1500ドル相当のスポーツ用具が贈られる。

1967（昭和42）

- 1月13日 喜名小学校、完全給食を実施する。
- 1月14日 八重山開拓移住13周年、栄公民館落成祝賀会に池原村長ら招かれる。
- 2月21日 日弁連沖縄調査団が来村する。
- 3月29日 渡慶次FBI S通信隊地域の住宅周辺に電灯がとれる。
- 5月 渡慶次交通安全友の会が発足。
- 6月13日 読谷小学校創立85周年記念図書館が竣工する。
- 7月1日 戸籍が夫婦・子供単位に整備される。
- 7月25日 スポーツ少年団本部結成される。
- 8月25日 第1回公民館図書館発表会（沖縄図書館協会共催）が楚辺公民館で開かれる。
- 10月9日 初の老齢福祉年金が支給される。
- 10月10日 古堅中学校水泳プール開き。簡素な祝賀パーティーを図書館で催す。
- 12月10日 読谷小学校85周年式典が開催される。
- 12月21日 古堅校区共同調理場建築工事着工。
- 12月26日 スポーツ少年団団旗交付式がなされる。

1968（昭和43）

- この年 古堅小中学校で完全給食が実施される。
- 1月1日 部落管理の水道を村へ移管する。
- 1月7日 古堅小学校給食センター工事着工。
- 1月14日 長田公民館が落成する。



56 屋良朝苗新主席誕生



57 佐久川清助の顕彰碑を建立



58 大湾巡査駐在所が開所



59 読谷村中央公民館が落成

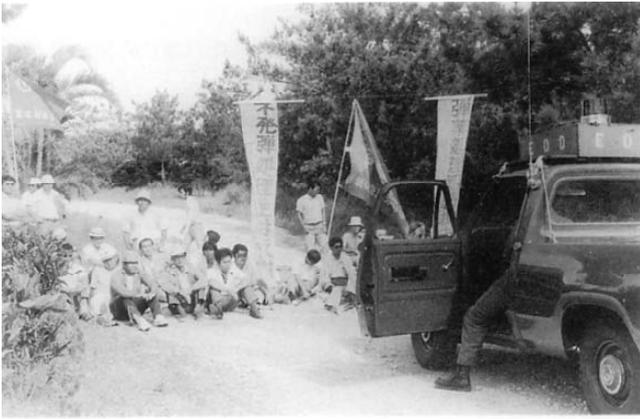
- 2月18日 読谷農協、肉牛を大阪へ初出荷する。
- 4月5日 読谷村新生活住民運動推進協議会を結成する。
- 7月28日 瀬名波公民館が落成、祝賀会を催す。
- 9月 渡慶次カタノの字有地を村に貸し村営チリ捨て場に指定。
- 9月26日 宇座海友会結成。宇座スポーツ少年団「あかつき」を結成。
- 10月12日 福井県で開催の全国身障者スポーツ大会で福地選手100メートルで銅メダル獲得する。
- 11月3日 知花英康・当山真志、勲五等瑞宝章を受賞する。
- 11月11日 初の公選主席に屋良朝苗が圧勝で選ばれる。
- 11月13日 明治百年祭で佐久川イモの故佐久川清助、キビ読谷山種の比嘉牛が国から顕彰される。
- 11月19日 嘉手納基地でB52戦略爆撃機が墜落し大爆発事故が発生する。
- 11月末 赤犬子原に200万ガロンの配水タンク完成する。

1969 (昭和44)

- この年 都屋漁港、第1種漁港の指定を受ける。
- 1月15日 第1回村民歩け歩け運動行われる。読谷小学校から古堅中学校までの5キロを歩いた。
- 3月31日 『読谷村誌』発刊される。
- 6月23日 瀬名波区、「永和の塔」を建立し除幕式を催す。
- 7月27日 比謝区、農林大臣から農業漁業先覚者として表彰された故佐久川清助の顕彰碑の落成式が行われる。
- 8月 渡慶次区、渡慶次小学校グラウンドにおいて第1回区民運動会を開催する。
- 8月4日 花織愛好会結成大会が行われる。
- 9月14日 比謝区公民館が落成する。
- 11月9日 第1回読谷村婦人運動会が開催される。
- 12月 渡慶次婦人会50周年記念式典が催し、『記念誌 創立五十周年』発行する。
- 12月1日 屋良朝苗主席、フィアリー民政官に会見、読谷北飛行場の村への返還などを要請。
- 12月20日 波平区の字誌『波平の歩み』発刊される。

1970 (昭和45)

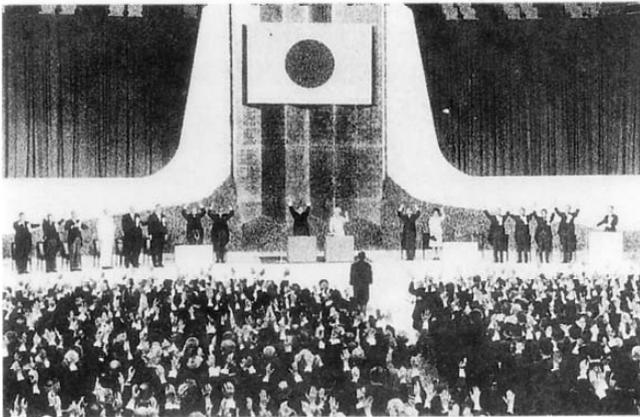
- 1月 古堅幼稚園園舎が完成する。
- 2月28日 読谷中学校新運動場が完成する。
- 3月7日 読谷村農業協同組合の農機具センターが店開き。大湾駐在所が開所する。
- 3月10日 パイロット地区農業構造改善事業で養豚団地指定を受ける。
- 3月11日 読谷小学校に体育館が完成する。
- 3月28日 読谷中学校で第1回養豚まつりが催される。
- 4月5日 防衛庁は残波岬ミサイル発射場の自衛隊使用を検討する。
- 5月20日 読谷農協、仔豚の出荷事業をスタートさせる。
- 6月 読谷村議会、毒ガス即時撤去に関する要請を決議する。
- 6月23日 親志地内民家へパラシュートの落下事故が発生する。
- 7月20日 村中央公民館落成祝賀会が催される。
- 8月30日 防衛庁幹部は、残波岬にある米陸軍のポーロー・ポイント防空ミサイル発射場を、わが国初のミサイル発射演習場候補地として、米側と折衝を進めていることを明らかにする。原水協は、読谷の不発弾処理



60 不発弾処理場反対行動



61 渡具知区の軍用地開放請願



62 東京での沖縄復帰記念式典



63 読谷郵便局でのドル交換

- 12月9日 のため、民家に被害を与えているかを調査。
- 12月20日 古堅宗光、村長に就任する。
- 12月 深夜、コザで反米暴動が発生する。
- 1月13日 水産業振興を目標に都屋港を浚渫する。

1971（昭和46）

- 1月30日 読谷村婦人会、読谷山花織の復活について協議する。屋良主席はフィアリー民政官と軍雇用員の大量解雇問題や読谷村の弾薬処理場問題等について話し合う。
- 2月24日 母子福祉会結成される。
- 5月11日 米軍不発弾処理作業再開に座りこみで抗議。
- 6月16日 屋良主席、返還協定調印への出席を辞退する。
- 6月17日 沖縄返還協定、日米で調印。沖縄では県民不在の返還協定ということで県民総決起大会が開催される。
- 7月15日 渡具知水利組合を結成する。
- 10月29日 楚辺部落後方に訓練中の米軍ジェット機が墜落する。
- 11月21日 渡慶次区より字誌『渡慶次の歩み』発行される。
- 11月24日 読谷村新生活運動協議会は来年から村内一円で新暦で正月・生年祝を行うことを決議する。
- 12月14日 屋良朝苗主席、宮里副主席は海洋博の用地選定で会場候補地の一つである残波岬を視察する。
- 12月16日 渡具知、立退部落開放要求地主会を結成する。

1972（昭和47）

- 5月13日 渡具知部落軍用地開放を村長及び議会議長へ陳情する。
- 5月15日 日本復帰に伴い通貨を米ドルから日本円に交換（1ドル=305円）する。
- 5月15日 日本復帰し沖縄県となる。
- 5月15日 読谷村役所を「読谷村役場」に改称する。
- 5月29日 座喜味城跡復帰に伴い、国指定史跡となる。
- 6月10日 ユリ栽培、初の本土出荷される。
- 6月25日 読谷村で「権利と財産を守る読谷村軍用地主会」結成大会開かれる。
- 7月18日 知事、県議会選挙、新知事に屋良朝苗が当選する。沖縄県復帰記念事業として簡易保険巡回診療団が来村する。
- 8月7日 創立2番目の南保育所開所式。（入所幼児60名）
- 8月15日 読谷農協南部支所が開所する。
- 8月26日 波平大当原貝塚発掘調査始まる。
- 9月11日 復帰協の仲宗根事務局長・上原康助衆議院議員、それに読谷村、那覇市小禄軍用地再契約拒否地主会代表ら10人は、那覇防衛施設局施設部の鳥羽施設部長に、補償金支払いの遅延に抗議するとともに、渡具知などの軍用地の開放を要求する。
- 9月14日 古堅宗光村長、同村渡具知区軍用地開放要求地主会の大湾哲彦会長ら代表7人は、屋良知事に会い、渡具知区の軍用地約17万平方メートルを即時返還するよう尽力してほしいと要請する。
- 9月24日 第9回中部地区小中学校科学展において読谷小学校が学校賞金賞を受賞する。
- 9月24日 初の農業委員会選挙がなされる。
- 10月1日 金城次郎、座喜味へ寮を開く。
- 10月5日 第1回村若夏国体県民運動推進協議会開催される。
- 10月8日 読谷村総合グラウンドで25周年記念読谷村陸上競



64 喜名小学校の創立25周年記念式典



65 渡具知の黙認耕作地



66 第1回畜産まつり



67 古堅区、賢母三遷の巻を復活

- 10月9日 技大会が開催される。
- 10月22日 喜名小学校に「読谷村教育発祥の地」の記念碑が建立される。
- 11月 工業公園調査団現地施設の来村。村社会福祉協議会に心配ごと相談所（相談員10人）を開設する。
- 12月4日 金城次郎氏の県無形文化財指定祝賀会を催す。
- 12月15日 金城次郎登り窯の初火入れ。
- 12月25日 防衛施設長は47年度分の沖縄に対する基地周辺の防音対策と障害防止対策事業を決定。そのなかで防音対策事業費として読谷村など6件に134,970,000円、障害防止対策事業費は読谷村など4件に34,000,000円となっている。

1973（昭和48）

- 1月1日 国民健康保険制度を実施する。
- 1月8日 任命制初の教育委員長に石嶺伝夫就任する。第18回全九州学校図書館コンクールにおいて読谷小学校が最優秀賞を受賞。同右文部大臣賞を受賞する。
- 1月11日 読谷村大当原貝塚から2,000年前の貴重な土器などが発掘される。
- 1月14日 喜名小学校創立25周年記念式典を挙げる。
- 1月18日 読谷村基地内で発生した“ガス漏れ事故”で村民大会が開かれる。
- 2月25日 農業総合展示会行われる。
- 4月30日 若夏国体の聖火が本村を通過する。
- 5月3日 若夏国体開催される。
- 5月15日 若夏国体開催される。
- 6月14日 日本復帰五・一五県民総決起大会。
- 6月14日 日米合同委員会、トリイ通信施設の一部返還を合意。
- 6月30日 旧渡具知が20年ぶりに返還される。
- 7月5日 メースB基地が返還される。
- 7月6日 アルゼンチン在村人会へ同志会旗を送る。防衛施設庁は「嘉手納・読谷・北谷などの各村で基地が60%から80%も占めている実情はよくわかるので、米側に対して保安施設、遊休施設あるいは、ぜいたくな使い方をしている施設について返還を折衝していく考えであり、現にその線で進めている」と語る。
- 7月7日 村漁業協同組合、9万匹のオニヒトデ退治を行う。
- 8月21日 行政区域改善審議会が発足する。
- 9月15日 トリイ通信施設の一部（スターカム通信所）が返還され渡具知部落が開放される。
- 10月 国指定史跡として座喜味城跡の県下初の環境整備事業に伴い発掘調査が始まる。
- 10月 総合消防庁舎を役場内から読谷小学校南側に新築移転する。
- 10月 長浜区、公民館の東側に子供あそび場が完成する。
- 10月27日 第1回村老人大運動会が開催される。
- 11月11日 養豚まつり・肥育牛展示会を統合し、第1回畜産まつりが開催される。
- 11月11日 村商工会創立総会が開催される。初代会長に安田慶文選任される。
- 11月23日 古堅区、40年ぶりに組踊り・賢母三遷の巻を再演する。
- 12月8日 第1回読谷山花織展示発表会が開催される。
- 4月1日



68 残波灯台が完成



69 楚辺公民館が落成



70 読谷村立歴史民俗資料館が落成



71 第19回の沖縄タイムス賞自治賞を受賞

1974 (昭和49)

- 4月11日 沖縄一の灯台、残波岬灯台が完成、点灯式が行われる。
- 5月2日 渡具知返還軍用地地主会が結成される。
- 6月9日 嘉手納、読谷合併協議会が開催される。第7回読谷・嘉手納両村合併協議会が開かれ、「合併期日の変更」「今後の合併事務局の取り扱い」を協議。
- 7月10日 宇座区より字誌『残波の里=宇座誌=』発行される。
- 7月21日 村長選挙、山内徳信無投票当選。17代村長に就任する。
- 8月4日 村体協主催の第1回陸上選手権大会が開催される。
- 8月11日 座喜味公民館の落成祝賀会を催す。
- 8月15日 ポーローポイントの一部(南側)が返還される。
- 8月18日 楚辺公民館の落成祝賀会が催される。
- 9月15日 屋良知事は、敬老の日にあたって新垣生活福祉部次長・山内読谷村長らを伴って、五代勢三七さん(百歳・座喜味96)を訪ね、長寿を祝う。
- 10月 座喜味城跡の米軍通信基地が開放となる。
- 10月11日 長浜区、県下で初の交通少年団が結成される。
- 11月 第16回日本民芸公募展に出品の与那嶺貞の読谷山花織が最優秀賞に輝く。
- 11月30日 残波岬の全面返還なる。
- 12月8日 第1回読谷村花織発表会が催される。
- 2月21日

1975 (昭和50)

- 3月4日 座喜味住宅近くまで不発弾処理場から爆破破片が飛んでくる事故が発生する。
 - 3月19日 山内徳信村長らは、沖縄総合事務局野島次長に、読谷村の米軍弾薬処理場での処理作業中止と同処理場の即時撤去を要請する。
 - 3月19日 喜名小学校体育館が完成する。
 - 3月24日 嘉手納読谷合併拡大会議が中央公民館で開催された。
 - 4月10日 読谷村、嘉手納村合併協議会規約が廃止される。県教育委員会は、「読谷山花織」を県指定無形文化財の工芸技術の部で県指定し、与那嶺貞を技能保持者に認定する。
 - 5月18日 県下初の村立歴史民俗資料館が開館する。
 - 7月1日 第1回「文化まつり」開かれる。
 - 7月12日 文化・福祉面での地域活動が評価され、第19回沖縄タイムス賞「自治賞」を受賞する。
 - 7月12日 古堅小学校創立73周年と同時に体育館落成祝賀会が催される。
 - 7月21日 座喜味不発弾処理再開ということで当局・村民が250人が座りこみ抗議で実力阻止。
 - 9月1日 渡具知東原遺跡で、6000年前の曾畑式土器発見される。
 - 10月1日 読谷山花織事業協同組合が結成される。
 - 11月6日 国勢調査で本村人口24,245人を数える。
 - 11月7日 第24回全国青年大会(国立競技場)に12年ぶりに読青協女子バレーチームが出場する。
 - 11月7日 座喜味区、棒術を全国青年大会で発表する。
 - 11月10日 昭和50年国民年金普及推進月間で字波平区が社会保険庁長官表彰を受ける。
- 那覇防衛施設局、沖縄県土地調査事務局、読谷村三者による読谷村トリイ通信施設地籍調査に関する協



72 沖縄海洋博の「読谷村の日」



73 楚辺養豚団地が完成



74 残波岬の植樹祭



75 衆院内閣沖縄調査団が読谷村を訪問

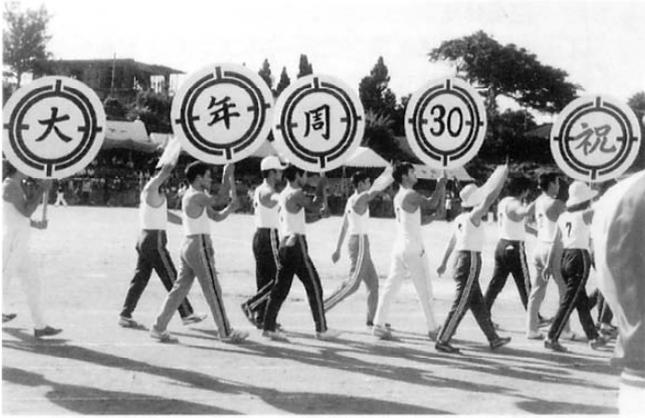
- 11月10日 定を締結。
- トリイ通信施設、古堅・渡具知地区の地籍確定調査
- 11月16日 の協定締結式が行われる。
- 沖縄国際海洋博、夕日の広場会場での「読谷村の日」
- において馬舞（高志保）棒術（座喜味）作田米（長
- 11月30日 浜）を披露する。
- 12月12日 読谷山花織、第1回展示即売会を催す。
- 3月 農林省にて比嘉幸政（波平）農林大臣表彰を受ける。

1976（昭和51）

- 沖縄地域科学研究所（真栄城守定所長）「読谷村ト
- 3月 リイ通信施設転用計画」の研究成果を沖縄県へ報告。
- 3月12日 喜名幼稚園新築園舎落成する。
- 喜名小学校図書館、九州地区学校図書館協議会西日
- 4月24日 本新聞社に優良図書館として表彰される。
- 4月26日 楚辺養豚団地が完成、祝賀会を催す。
- 5月1日 読谷山花織が国の伝統工芸産品に指定される。
- 5月12日 村立3番目の北保育所が開所する。
- 読谷村婦人会、衛生組織連合会長賞受賞のため新旧
- 5月21日 役員大阪での式典へ。
- 山内徳信村長、那覇防衛施設局根元武夫次長が、読
- 谷村の返還軍用地の現地視察の折、渡具知部落の宅
- 6月4日 地復元事業を要請。
- 農林省は51年度に実施する「農村基盤総合整備事
- 6月17日 業」の計画を決める。全国50地区のうち沖縄から
- は読谷村の座喜味が予定される。
- トリイ通信施設周辺復帰先地公共施設整備事業の概
- 6月20日 算要求書を那覇防衛施設局へ提出。
- 残波岬で植樹祭、500人余が参加してモクマオ5000
- 8月5日 本を植樹する。
- 8月27日 大湾区民運動場が完成する。
- 屋良朝苗前知事の激励と慰労の夕べに村民500余名
- 9月19日 が出席する。
- 渡慶次小学校、創立75周年記念式典並びに体育館
- 9月30日 落成祝賀会を挙げる。
- 10月14日 ポーローポイント射撃場地区返還される。
- 資料館友の会、民話サークル「読谷ゆうがの会」
- 10月15日 が結成される。
- 10月23日 秩父宮妃殿下が読谷村を訪問する。
- 読谷飛行場内米軍アンテナ設置反対村民大会を催
- 10月26日 す。豪雨の中を820名の村民が参加する。
- 12月19日 字座喜味にいも団地を造成する。
- 12月24日 第1回読谷村社会福祉大会が開催される。
- この年 読谷村のシンボル村章・村歌が制定される。

1977（昭和52）

- 衆議院内閣委員会がポーローポイント現場の調査を
- 2月7日 実施する。
- 山内村長、読谷村補助飛行場内のアンテナ設置工事
- 4月1日 中止に関する書簡直訴状を米国ジミーカーター大統領に送る。
- ごみ処理場を字渡具知木綿原（米軍砕石場跡）に移
- 4月20日 転する。
- 4月22日 衆議院内閣委沖縄調査団地積調査のための来村する。
- 5月9日 波平陸軍補助施設跡に県立読谷救護園が開園する。
- 読谷村字渡具知所在の木綿原遺跡が採砂にともない
- 緊急発掘調査開始。発掘の結果、弥生式土器や箱式



76 読体協30周年記念陸上競技大会



77 読谷村議会庁舎が落成



78 読谷村診療所が開所



79 7・30交通方法変更

- 5月13日 石棺墓等が発見される。
- 5月20日 第10回全国保健衛生大会で波平婦人会が厚生大臣より表彰を受ける。
- 6月21日 トリイ通信施設周辺復帰先地公共施設整備事業（全体設計）採択内示される。
- 7月8日 各地主らから返還が要求されている旧日本軍接收地（読谷飛行場など）問題の調査のため、会計検査院の岩井審議官と沢井第一局上席調査官らが来村。
- 8月14日 昭和19年、旧日本軍に強制収用された嘉手納飛行場用地の地主、123人は国に対し所有権の確認と補償で那覇地裁に提訴。
- 8月20日 全九州地区中学ソフトボールにおいて古堅中学校が優勝を飾る。
- 10月9日 古堅中学校女子ソフトボール第5回西日本選手権大会で準優勝を飾る。
- 10月13日 30周年記念村陸上競技大会が開催される。
- 11月15日 トリイ通信施設周辺復帰先地公共施設整備公共事業の調査測量設計実施される。
- 11月22日 中部地区国民年金大会で村は3年連続の県知事表彰を受け、喜名区は優良団体として長官表彰を受ける。
- 12月2日 渡具知土地利用推進委員会設立される。
- 1月25日 渡具知地域に住宅建築許可される。

1978（昭和53）

- 2月14日 重度身体障害者療護施設「都屋の里」が開園する。
- 2月25日 昭和48年9月に返還された読谷村トリイ通信施設跡、約131万平方メートルについて地籍調査の成果を認証する。
- 2月28日 都屋区より『都屋誌』発行される。
- 3月12日 読谷村議会庁舎が完成する。
- 3月31日 第1回沖縄県功労賞に屋良朝苗が選ばれる。
- 4月17日 村教育委員会より『読谷村の文化財 第一集』発行される。
- 5月8日 大蔵省は、旧読谷飛行場や伊江飛行場など「沖縄における旧軍買収地について」の調査結果をまとめ、「沖縄の旧軍用地は正当な手続きで買収した」内容を衆議院予算委員会に提出。
- 5月8日 読谷村婦人会代表、全国保健衛生大会において厚生大臣賞受賞のため式典へ参加。
- 5月11日 県、「旧日本軍接收地調査報告書」をまとめる。
- 5月25日 県、旧日本軍接收地問題で意見調整。
- 6月10日 村立診療所の開所式が行われる。
- 6月19日 読谷補助飛行場で米軍降下演習中、黙認耕作地にパラシュート付き荷物が落下。
- 7月3日 読谷村総合計画基本構想が村議会で可決される。
- 7月23日 山内徳信村長、2期連続無投票当選を果たす。
- 7月30日 村社会福祉協議会、第1回やちむんチャリティーバザーと福祉展を開催する。
- 8月12日 「人は右、車は左」を合言葉に交通方法変更が全県下で実施される。
- 8月20日 読谷ダイバース国体選抜九州大会（佐賀県）に出場する。
- 8月20日 読谷中学校女子ソフトボール第6回西日本大会で準優勝を飾る。
- 8月20日 古堅中学校女子ソフトボール第5回全九州大会で優勝を飾る。
- 9月6日 渡具知区民、渡具知へ移住開始。
- 9月16日



80 読谷村運動広場を開設



81 21世紀の夢とロマンを求めて



82 長浜区の民俗芸能チクタヌメー



83 古堅南小学校が開校

- 10月9日 楚辺青年会、敬老会において19年ぶりに「忠臣護佐丸」を復活上演する。
- 11月15日 読谷村運動広場開場する。
渡具知木綿原遺跡が国指定史跡となる。沖縄貝塚時代中期末から後期前半期における集団埋葬の実態を浮き彫りにさせた。
- 1月12日
1979（昭和54）
- 「第3回全国伝統的工芸品展」が東京西武百貨店で開催され、本県からは読谷山花織が中小企業庁長官賞を受賞。
- 3月10日 伊良皆児童公園が開園する。
- 3月11日 喜名小学校、創立三十周年記念式典を挙げる。
- 3月25日 村歴史民俗資料館より読谷村民話資料集1『伊良皆の民話』発刊される。
- 4月18日 渡慶次野菜生産組合、近代的農業の発展と創意工夫の経営実績を高く評価された朝日農業賞を受賞する。
- 5月12日 村内2番目、高志保児童公園の開園式が行われる。
- 5月15日 読谷山花織の与那嶺貞、第14回西部工芸展にて朝日新聞社金賞に輝く。
- 5月26日 スカイダイビングの米兵が読谷高校に降下する。
- 6月6日 渡慶次全軍用地跡地利用推進協議会が結成される。
- 6月17日 座喜味老人クラブ友愛会、結成15周年を祝う。記念誌も発行する。
- 7月2日 トリイ通信施設周辺復帰先地公共施設整備事業第二期工事施工される。
- 7月18日 21世紀の夢とロマンを求め、読谷ムラおこし講演並びに研究集会を開催する。
- 7月23日 沖縄県総合体育大会で古堅中学校女子ソフトボール優勝。女子体操個人優勝。
- 8月9日 古堅中学校、女子ソフトボール九州大会準優勝。女子体操（宮城由美子）が九州大会へ派遣される。
- 8月10日 読谷中学、宮崎県での九州中学校柔道大会に出場する。
- 8月17日 古堅中学校、女子ソフトボール第1回全国大会（秩父市）派遣される。
- 9月21日 第21回全国青年学級大会において伊良皆エイサーを披露する。
- 10月18日 第21回九州地区民俗芸能大会に長浜のチクタヌメーが沖縄県代表として出場する。
- 10月21日 第7回中頭郡陸上競技大会において男子は7年連続優勝、夏季総体は6度目の優勝を果たす。
- 11月3日 読谷村渡具知土地改良区第1回総会が開催される。
- 11月6日 読谷村楚辺の読谷ニューハイツ内の空き地に米軍のおもり付きパラシュート落下事故が発生する。
- 11月9日 県議会の米軍基地関係特別委員会は、読谷村楚辺のパラシュート落下事故現場を調査する。
- 12月1日 喜名区、第1回文化まつりを開催する。
- 1980（昭和55）
- 1月19日 古堅南小学校の初代校長に岳原直正校長決まる。
- 1月19日 第27回県社会教育振興大会において村中央公民館が表彰を受ける。
- 4月7日 古堅中学校、新人ソフトボール大会において男子が優勝を飾る。
- 4月18日 古堅差門原に古堅南小学校・古堅南幼稚園が開校開園する（生徒数472人）。



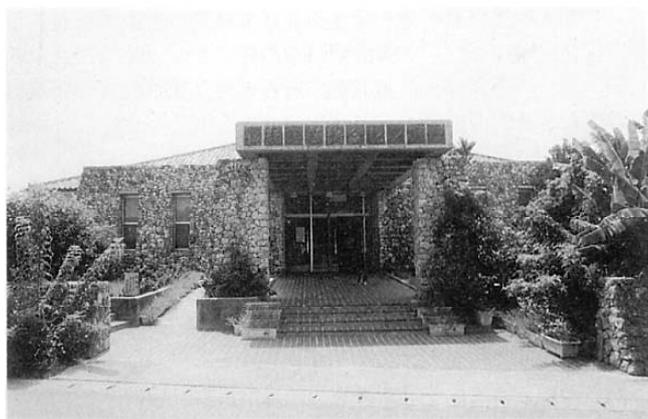
84 読谷村総合福祉センターが落成



85 ヤチムンの里の窯に火が入る



86 故比嘉秀平主席の銅像を建立



87 読谷村伝統工芸センターが開館

- 4月26日 読谷飛行場内米軍落下傘降下演習場撤去要求促進村民総決起大会に1000人余を集める。
- 5月24日 渡具知地区土地改良事業の起工式が行われる。ピニールハウス団地等を造成。
- 6月4日 波平井之原児童公園が開園する。
- 7月1日 喜名観音堂児童公園が開園する。「やちむんの里」座喜味横田屋原に完成、初窯開き。
- 8月9日 第7回女子中学ソフトボール九州大会において、読谷中学校3度目の九州制覇を果たす。8月22日の全国大会では準優勝を飾る。
- 8月10日 第1回九州男子中学ソフトボール大会において、古堅中学校は準優勝を飾る。
- 8月29日 古堅区、10周年記念区民大運動会を開催する。
- 9月30日 村総合福祉センターが開館する。
- 11月29日 ムラおこし交流集会在催される。
- 2月28日 第1回読谷菊花展を開催する。

1981（昭和56）

- 2月16日 高志保公民館「多目的研修施設」落成祝賀会が催される。
- 3月14日 古堅南小学校校舎開き移転式が行われる。
- 3月27日 波平アガリジョーの老松枯れ、切り倒される。
- 4月4日 大木、慰霊碑を建立する。トリイ通信施設周辺復帰先地公共施設整備事業完了祝賀会が催される。戦後27年ぶり渡具知むら結了となる。
- 4月21日 古堅小学校でパラシュート落下事故が発生、米軍落下傘演習場撤去要求促進村民総決起大会が開かれる。
- 5月10日 渡具知木綿原の土地改良区に第1期防潮林を植栽する。
- 5月11日 第1回読谷アンデパンダン展（絵画・彫刻・陶芸・織物・書道・写真）を開催する。
- 5月23日 本村5番目の大木児童公園が開園する。
- 8月21日 読谷勤労者体育センターの開館式が行われる。
- 8月28日 安孫子藤吉自治大臣らが来村、花織工房・やちむんの里を視察する。
- 9月6日 座喜味老人クラブ、文化財を大切に石碑を建立。
- 10月18日 大木区、故比嘉秀平初代行政主席の銅像を建立する。
- 11月8日 第7回 読谷まつり。この回から総勢300人の三味線奏者を集め「赤犬子琉球古典音楽大演奏会」がプログラム化される。また、波平の組踊「大本部」が26年ぶり、また座喜味の「マチ棒」も戦後初めての披露となる。
- 12月25日 沖縄障害児教育発祥地の渡慶次小学校に故与那覇惟俊先生を偲び記念碑を建立する。
- 2月13日

1982（昭和57）

- 4月 第1回「動く美術館」読谷展が催される。
- 4月 読谷村商工会館が開館する。村農業青年クラブが第6回全農新聞賞総理大臣賞に輝く。
- 4月30日 村伝統工芸センター（花織会館）が開館する。
- 5月18日 沖縄国体、少年男子ソフトボール競技会場に決まり、読谷村準備委員会設立総会が開催される。
- 5月28日 叙勲並びに大臣賞受賞者の合同祝賀会開かれる。
- 6月6日 第1回壮年バレーボール大会が開かれる。
- 6月22日



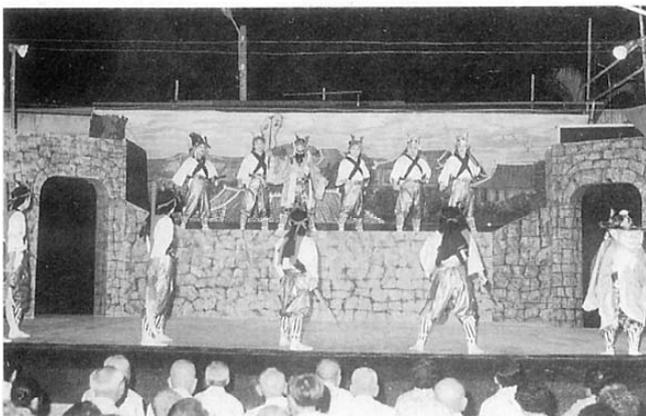
88 読谷小学校の創立100周年記念式典



89 北海道池田町との児童交流始まる



90 読谷村共同販売センター落成



91 座喜味区、組踊「護佐丸」を復活

- 7月4日 「非核宣言の村」広告塔を村内3か所に設置する。
- 8月19日 村長選挙告示、山内徳信村長(3選)当選する。
- 9月11日 昨年の「宮崎少年の船」に続き、「熊本少年の船」の皆さん来村する。
- 9月11日 大阪在住の安里嗣福、古堅南小に校旗を寄贈する。
- 11月21日 古堅南小学校校舎及び園舎並びに体育館落成記念式典が催される。
- 11月26日 読谷村婦人会、第1回演芸のつどいを開催する。
- 2月3日 読谷小学校創立百周年記念碑の除幕式が執り行われる。28日、創立100周年記念式典を挙げる。

1983(昭和58)

- 3月27日 第1回北海道池田町と読谷村の児童生徒交流会が行われる。
- 3月27日 第1回読谷村身体障害者協会スポーツデーが開催される。
- 4月24日 渡慶次集落センター記念式典が催される。
- 7月26日 比謝江運動広場を造成する。
- 8月11日 読谷共同販売センターが開店。読谷山花織・ヤチムン等の伝統工芸品を展示即売。
- 8月14日 長浜の大綱引き40年ぶりに復活する。
- 10月8日 喜名区体協、県社会体育優良団体表彰に輝く。
- 10月23日 読体協、中頭郡陸上競技大会において3度目の完全優勝を飾る。
- 10月25日 村立読谷小学校より『創立百周年 記念誌』発刊。
- 11月30日 残波岬総合公園の勤労者野外活動施設がオープン。
- 2月7日

1984(昭和59)

- 2月26日 波平大当大通りに読谷派出所が落成する。
- 2月26日 第1回村内小中校音楽発表会が催される。
- 3月17日 読谷村商工会10周年記念大会を催し、『創立10周年記念 読谷村商工名鑑』発刊する。
- 3月18日 第一回渡慶次まつりが開催される。
- 3月21日 グリーンベレー配備阻止村民大会が開催される。
- 3月25日 楚辺兼久ビーチ拡張工事阻止村民大会が開かれる。
- 3月27日 第1回少年サッカー大会が開催される。
- 3月30日 読谷村飛行場転用計画審議会を設置する。
- 4月7日 花織の字工房として最初の楚辺工房が完成。
- 4月20日 米軍の楚辺ビーチ拡張及び特殊作戦部隊配備阻止、第1回読谷村実行委員会が開催される。
- 4月22日 古堅小学校に約4千人の県民を集め、悪魔の米特殊部隊の再配備・トマホーク配備絶対阻止で県民総決起大会が開催される。
- 5月12日 関西地区に読谷郷友会が発足する。
- 7月4日 座喜味地区農村基盤総合整備事業(前田原・喜名田原)の完了祝賀会が催される。
- 7月8日 第42回国民体育大会(海邦国体)読谷村実行委員会を設立する。
- 7月24日 宇座区、旧ポーローポイント周辺復帰先地公共施設整備事業の完了に伴う祝賀会が催される。
- 8月10日 読谷村で昭和59年度全九州高校体育大会ソフトボール競技が開催される。
- 9月8日 古堅中男子ソフトボール、九州大会で準優勝を飾る。
- 9月16日 座喜味区、25年ぶりに組踊「護佐丸」、また50年ぶりに獅子舞が復活する。
- 9月23日 残波岬公園でタイ国農業青年と地元農業青年が交流する。



92 「潤いのあるまちづくり」で自治大臣表彰



93 村23番目の行政区大添区が誕生



94 伊良皆公民館が落成



95 よみたんまつりで創作「進貢船」を発表

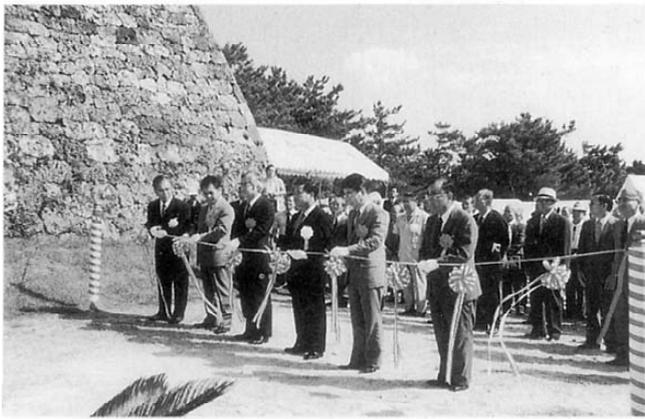
- 10月9日 第2回楚辺まつりにおいて34年ぶりに「手水の縁」を上演する。
- 10月17日 楚辺体育部、県教育長より社会体育優良団体として表彰される。
- 10月18日 読谷中学校に柔剣道場が完成する。
- 10月19日 古堅小学校グラウンドにおいて米軍特殊部隊配備阻止村民大会が開かれる。
- 10月19日 トリイ通信施設内で米軍特殊作戦部隊（グリーンベレー）創隊式が行われる。
- 11月3日 読谷で日教組の平和教育交流集会在開催される。
- 11月3日 第10回読谷まつりが催される。楚辺区、34年ぶりの「手水の縁」を、座喜味区、25年ぶりの「忠臣護佐丸」を上演する。
- 11月3日 読谷村健康づくり推進協議会が第1回読谷村健康展を開催する。
- 1月29日 県下で初めて、「潤いのあるまちづくり」で自治大臣より表彰を受ける。
- 1月11日

1985（昭和60）

- 1月22日 参議員決算委6氏が読谷を視察する。
- 1月24日 第1回読谷村史編集委員会が開催される。
- 2月13日 動く美術館10周年記念として故堀田清治画伯の絵画が寄贈される。
- 2月13日 座喜味子供文庫にユネスコより児童図書107冊が贈られる。
- 3月17日
- 3月31日 第1回演慶次まつりが催される。
- 3月31日 村内23番目の行政区、大添区が結成総会を開く。
- 3月31日 初代区長に牧忍区長が就任。
- 3月31日 村内8番目の楚辺東児童公園の開園式が行われる。
- 3月31日 一般廃棄物最終処分場（ゴミ処理場）が完成する。
- 4月13日 村営住宅古堅団地が完成し18世帯が入居する。
- 4月30日 金城次郎、琉球陶器で国指定重要文化財無形文化財（工芸技術）の指定を受ける。
- 5月15日 村内2番目の工房、座喜味花織工房が完成する。
- 7月7日 金城次郎、人間国宝認定祝賀会を催す。
- 7月7日 座喜味区、125年前の赤瓦民家を復元、落成祝賀会を催す。
- 7月7日 儀間復帰地先公共施設が整備されその祝賀会が催される。
- 7月21日 伊良皆公民館（学習等共用施設・三階建）が完成する。
- 8月12日
- 8月27日 原水禁世界大会開かれ、13か国から130人が参加し世界に原水爆禁止、平和を訴える。
- 8月31日 読谷中学校男子ソフトボール、西日本で優勝を飾る。
- 9月12日 創立35周年記念誌『進取の翔』発刊される。
- 9月28日 第1回都市緑化コンクールが開催される。
- 9月28日 第15回琉球新報移動編集局が読谷で開催される。
- 11月3日 第21回琉球新報賞で金城次郎・真玉橋ノブ・仲嶺真助が表彰を受ける。
- 11月3日 第11回読谷まつりにおいて創作「進貢船 - 泰期ははばいた - 」を発表する。
- 11月4日 喜名体協、文部大臣より社会体育優良団体として表彰される。
- 11月15日 読谷飛行場転用計画審議会、読谷飛行場転用計画について答申する。
- 12月8日 座喜味区献血会、献血千人目を達成する。（昭和53



96 残波岬に残波大獅子が完成



97 座喜味城跡の復元事業が完了



98 第42回国民体育大会（海邦国体）開催



99 座喜味区、全国農村アメニティーで優秀賞

12月16日 年から)
読谷村青年団協議会が国際青年年記念功労者として
3月8日 総務庁長官賞を受賞する。

1986（昭和61）

3月30日 読谷保育所が開所20周年を祝う。
大正3年設立の読谷村婦人会が創立70周年を祝し、
3月31日 記念誌を発刊する。
村木にイヌマキ（チャーギ）・村花にブーゲンビリアが選定される。
4月5日 残波大獅子の完成祝賀会が催される。
4月10日 国体会場の建設起工式が行われる。
4月25日 農村婦人の家の落成式が開催される。
4月27日 地域シンポジウム読谷が開催される。
5月5日 少年柔道クラブ、第6回全国少年柔道大会で2年連続出場を果たす。
5月27日 古堅小学校プール開き。
5月31日 長浜地区運動広場が開設される。
7月21日 山内徳信村長、4選を果たし就任式が行われる。
8月5日 読谷山花織振興シンポジウムを開催する。
9月27日 13年の歳月をかけ座喜味城跡復元され、祝賀会が催される。
9月27日 第1回読谷村福祉納涼まつり開催される。
10月9日 ハワイ村人会の一世二世三世ら80人が来村する。
10月31日 『読谷村史』第二巻 資料編1 戦前新聞集成上・下が発刊される。（第1回配本）
11月20日 国体を成功させようと第42回国民体育大会 山梨県南部町（かいじ国体）より国体旗が引継がれる。
11月22日 むらおこしシンポジウムを開催する。
11月23日 喜名地区移転先地公共施設整備事業の起工式が行われる。
この年

1987（昭和62）

2月8日 渡慶次ウラシマチーム結成される。
2月22日 第1回残波岬マスターズ駅伝大会が催される。
2月23日 渡慶次農村運動広場落成祝賀会が催される。
第42回国民体育大会読谷ソフトボール大会場の名称が「平和の森球場」に決まる。
3月8日 少年柔道クラブ県大会で三連覇果たす。
3月31日 読中女子ソフト初の全国制覇果たす。
4月1日 読谷飛行場転用対策課を設置する。
4月2日 チビチリガマ世代を結ぶ平和の像を建立する。
4月18日 村内9番目の児童公園、大湾児童公園の開園式が行われる。
4月28日 村内3番目の読谷山花織波平工房の落成式が行われる。
4月30日 葉梨自治大臣が来村、ヤチムンの里等を視察する。
5月4日 綿貫沖縄開発庁長官が来村、ヤチムンの里・伝統工芸センター等を視察する。
5月30日 読谷平和の森球場が完成、落成式が催される。
6月21日 第1回カテナ基地包囲行動に2万5千人、読谷村民も600人余が参加する。
8月3日 読谷小学校ミニバスケット部県大会で優勝する。
10月26日 第42回国民体育大会 海邦国体少年男子ソフトボール競技が4日間の日程で開催される。
11月 第2回全国農村アメニティー（快適性）コンクールで座喜味区が優秀賞「国土庁長官賞」に輝く。
12月24日



100 新築の比謝区公民館



101 残波岬ロイヤルホテルがオープン



102 第1回読谷村平和創造展を開催



103 村営残波ビーチがオープン

1月6日 12月24日 村人口、3万人を数える。

1988（昭和63）

- 3月6日 読谷小学校ミニバスケット部が九州制覇を果たす。
- 3月19日 喜名小学校創立40周年記念式典を催す。
- 3月29日 比謝区公民館が落成する。
読谷中学校ソフトボール部、第2回全国中学生ソフトボール大会で優勝を飾る。
- 4月1日 役場機構改革（三部十三課）なされる。
- 5月 古堅南小学校マーチングバンドが結成する。
- 6月2日 喜名小学校でプール開き。
第11回全沖縄男子中学校春期ソフトボール大会で読谷中学校男子ソフトボールチームが春夏連続2回の優勝に輝く。
- 6月12日 沖縄県議会選挙が行われ、伊波栄徳当選する。
- 6月17日 村内10番目の古堅第一公園が開園する。
- 7月2日 残波岬ロイヤルホテルがオープン。
読谷村子ども会育成連絡協議会、結成10周年記念運動会を催す。
- 8月3日 パラシュート降下演習場の早期移設及び旧読谷飛行場用地の戦後処理を実現に向けて村民総決起大会が開催される。
- 10月5日 県営波平地区畑地整備事業を着手する。
- 10月23日 結成15周年を記念して読谷村老人運動会が開催される。
- 10月29日 楚辺区、赤犬子シンポジウムを開催する。
- 11月 古堅給食調理場が県下初の全国表彰を受ける。
- 11月25日 読谷村字誌づくり連絡会が設立される。
- 12月8日 戦争の悲惨さと平和の尊さを問い直す。第1回読谷村平和創造展を開催する。

1989（平成1）

- 3月29日 読谷村ノーベル平和賞を夢みる村民基金を設置する。
- 4月1日 読谷村名誉村民条例が制定される。
- 4月11日 復帰後初の女性教育委員として泉川とし子が就任。
- 4月15日 読谷村赤十字奉仕団が結成される。
- 4月23日 村営残波ビーチが完成し、海びらきが行われる。
座喜味城跡において、ゆんたんざぐすくフォーラム - 地域文化を考える - が開催される。
- 5月5日 読谷少年柔道クラブ、全国少年柔道大会で、松田栄作（読谷小学校5年生）が三位入賞、団体は連続ベスト16入を果たす。
- 5月18日 残波岬に宇宙展望広場が開園する。
- 5月21日 読谷村子ども会が10周年記念式典を催す。
- 6月10日 古堅南小学校プール開き。
- 7月20日 古堅南小学校プール開き。
- 8月4日 村立歴史民俗資料館建築工事が完了する。
ワシントン記念塔の復活セレモニーにペリー提督来島ゆかりの地、喜名番所の石が提供される。
- 8月6日 読谷少年柔道クラブ、平成元年度全国少年武道優良団体として表彰を受ける。
- 8月10日 第16回九州中学校女子ソフトボール競技大会（大分県）へ読中女子ソフト出場する。
- 8月10日 第11回九州中学校柔道競技大会（福岡県）へ読谷・古堅中学校出場する。



104 第1回読谷村名誉村民称号授与式典



105 村デイケアサービス「かりゆし号」



106 読谷村電算システムを開始



107 福岡ダイエーホークス読谷キャンプ

- 8月12日 第1回読谷村名誉村民称号授与式典が催される。屋良朝苗、金城次郎が授与する。
- 8月19日 国道嘉手納バイパス建設促進読谷村期成会が結成する。
- 8月19日 金城実彫刻展「創造への新たな出発」が開催される。渡慶次ウラシマチーム、第2回老人健康オリンピック大分大会へ出場する。
- 8月21日 読谷中学校男子ソフトボールが春・夏連続の全国制覇を果たす。
- 8月22日 読谷村交通安全母の会が結成する。
- 8月27日 浜屋地区土地改良総合整備事業の完了祝賀会・記念碑除幕式が催される。
- 9月14日 村民センター地区建設検討委員会が設置される。
- 9月14日 長野県連合青年会と読青協が平和交流会を催す。
- 9月26日 読谷補助飛行場の早期返還を米大統領に直訴要請する。
- 10月5日 村デイケアサービスを開始する。
- 10月15日 第17回中頭郡陸上競技大会において3部門を制覇し、7年連続中頭郡体育大会優勝を果たす。
- 10月23日 読谷小学校、郵政省主催の第22回手紙作文コンクールで郵政大臣賞を受賞する。
- 10月28日 フィリピン国立博物館のアギレラ研究員が読谷村の遺跡出土品を見学する。
- 10月29日 長浜区、伝統芸能「作たる米」が第31回九州民俗芸能大会に県代表として出場する。
- 10月29日 古堅南小学校マーチングバンド九州大会で金賞を受賞する。
- 11月29日 伊良皆、嘉手納弾薬庫内長田原クーニー山壕で厚生省の遺骨収集が実施される。
- 11月29日 創立25周年記念老人クラブ大会を催す。
- 12月4日 福岡ダイエーホークスのキャンプ場に「平和の森球場」決定の記者会見が行われる。
- 12月5日 地域経営に優れた実績を評価、第5回宮崎賞「地域経済活動賞」を受賞する。
- 12月14日 読谷中学校吹奏楽部、第13回沖縄県吹奏楽アンサンブルコンテストで2部門金賞に輝く。
- 12月18日 読谷村商工会第三セクター設立調査研究事業実行委員会によるコンタンザ 夢づくり マチづくり シンポジウムが開催される。
- 12月22日 叙勲・県功労賞合同受賞祝賀会が催される。
- 12月24日 読谷中学校、第13回沖縄県吹奏楽アンサンブルコンテストにおいて2部門で金賞を受賞する。
- 12月29日 読谷中学校軟式野球部、第33回沖縄県中学校軟式野球大会において初優勝を飾る。

1990（平成2）

- 第1回読谷村朗読ボランティア養成講習会が行われる。
- 1月16日 役場、電算による住民情報システムを開始する。
- 1月19日 第1回読谷村学校給食会が開催される。
- 1月25日 村総合福祉センターに多くの村民を集め宮崎賞受賞祝賀会が催される。
- 2月1日 福岡ダイエーホークス読谷キャンプイン歓迎式典が催される。
- 2月15日 読谷村種豚改良組合、全国養豚協会創立20周年記念で功労表彰を受ける。
- 3月1日



108 読谷村立美術館が開館



109 喜名区環境整備事業が完了



110 古堅南小学校マーチングバンド部

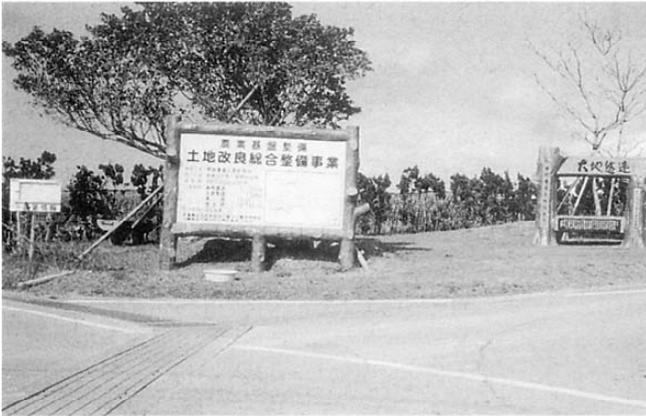


111 読谷少年柔道クラブのメンバー

- 3月3日 初代村立美術館長に宮城元信館長が就任する。
- 3月3日 渡慶次小学校給食調理場が完成する。
- 3月21日 大湾武読谷中学校教諭、第27回沖縄タイムス教育賞を受賞する。
- 3月25日 大正4年結成の座喜味婦人会その歩みを『七十五周年 記念誌 読谷村座喜味婦人会』として発行する。
- 3月29日 古堅土地区画整理事業完了、祝賀会が催される。
- 3月29日 村立美術館が開館する。村歴史民俗資料館も増館しさらに充実する。
- 6月17日 読谷中学校吹奏楽部、第11回全日本リコーダーコンテストで金賞に輝く。
- 6月17日 読谷村の伝承芸能を「全国友好市町村伝承芸能発表会」の池田町田園ホールで披露する。
- 6月21日 宇座東公園が開園する。
- 6月26日 山内徳信村長、無投票で5選する。
- 6月29日 渡慶次小学校、村内6番目の水泳プール開きが行われる。
- 7月15日 喜名区環境整備事業（移転地区）が完了し、記念碑「風水吉祥の地」を除幕する。
- 7月29日 渡具知集会所（公民館）、土地改良事業の完了祝賀会が催される。『記念誌』発行される。
- 8月16日 古堅南少年野球クラブ、全国大会で準優勝を飾る。
- 8月27日 カナダ・アメリカ・ブラジル・アルゼンチン・ポリビア・ペルーから73人の読谷村出身者が集い、世界のユンタンザンチュ歓迎交流会が催される。
- 11月24日 古堅南幼稚園・南小学校、創立10周年記念式典を挙げる。
- 11月24日 第1回読谷文化財展 長浜吹出原遺跡展が開催される。
- 12月7日 北京師範大学の張紫農教授を団長とする日中農耕文化比較プロジェクトチームが座喜味・長浜の合同調査を実施する。
- 12月1日 読谷高等学校、創立40周年記念式典を挙げる。
- 12月13日 読谷山花織事業協同組合の新垣隆専務理事が第10回安谷屋正量賞を受賞する。
- 12月28日 村のデイサービスに感謝して城間文（楚辺）おばあさん、読谷村の福祉のためにと3千万円を寄付、村からの感謝状が送られる。
- 1月1日 1991（平成3）
- 1月20日 古堅少年野球クラブ、第48回県少年野球大会で初優勝を飾る。
- 1月20日 古堅南小学校、第18回全日本マーチングバンド・パトントワリング全国大会マーチングバンド部門で優秀団体表彰に輝く。
- 1月31日 読谷村、全国優良町村で全国町村会長より表彰を受ける。
- 2月10日 読谷中学校吹奏学部、第10回県リコーダーコンテスト四重奏部門で2個の金賞を受賞する。3月27日全国大会へ。
- 2月27日 読谷村国際ボランティア貯金普及推進協議会が設立する。
- 3月7日 松田善康農協組合長、全国農協功労章を受ける。
- 3月10日 読谷少年柔道クラブ、第11回全国少年柔道大会県予選で2年ぶり6度目の優勝を飾る。
- 3月27日 読谷中学校男子ソフトボール、第1回九州中学校選抜ソフトボール大会で九州制覇なす。
- 4月1日



112 比謝川大橋が開通



113 西部連道土地改良区

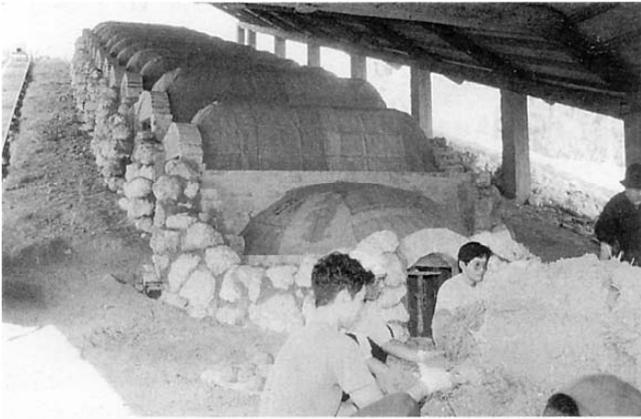


114 長浜ダムの定礎式・祝賀会



115 読谷高等学校野球部甲子園出場

- 4月21日 平和条例「読谷村平和行政の基本に関する条例」が施行される。
- 5月14日 美童クラブ、県ソフトボール大会で優勝、九州大会へ。
- 5月27日 柳田國男ゆかりサミット（宮古）で長浜区が伝統芸能「作たる米」を披露する。
- 6月29日 読谷村と嘉手納町を結ぶ、比謝川大橋の開通式並びに祝賀会が開催される。なお「比謝川大橋」は石嶺伝夫の命名による。
- 7月15日 村職員労働組合『30周年記念誌 描てい行かな』を発刊。
- 読谷村訪米直訴団の激励会を開催する。『読谷補助飛行場の早期返還を求めて』（和英ブックレット）を携え19日アメリカに出発する。
- 9月14日 役場業務に土曜日閉庁制度が導入され第2・4土曜日が閉庁となる。
- 9月24日 シェイクスピア in 座喜味「真夏の夜の夢」座喜味城で上演される。
- 10月13日 読谷村体協、6年連続完全優勝を果たす。総合成績は10年連続優勝となる。
- 10月22日 喜名婦人会、第21回沖縄縄美化コンクールで優良賞を受ける。
- 10月23日 読谷高校野球部、第41回県高校野球秋季大会で28年ぶり2度目の優勝。11月12日、第89回九州地区高校野球大会ではベスト4に進出、準決勝で敗れる。
- 10月30日 村消防団、第12回沖縄県消防団操法大会において第2位に入賞する。
- 10月31日 村電算化システム、地方自治情報センターより地方公共団体電算職員等表彰式において優良団体として表彰を受ける。
- 11月19日 長浜ダム（160万トン貯水の農業用ダム）の定礎式・祝賀会が開催される。
- 11月23日 ヤチムンの里の新しい北窯元に県内最大規模13連房の登り窯が誕生する。
- 12月25日 残波ゴルフクラブが落成する。
- 12月5日 西部連道土地改良区、大地悠遠の碑除幕式・完工記念祝賀会を催す。
- 1月19日 1992（平成4）
- 古堅南小学校マーチングバンド部、第17回全国パトントゥアリングマーチングバンド大会に九州地区代表として出場し優秀賞に輝く。
- 2月9日 読谷子ども会育成連絡協議会、第25回全国子ども会中央会議において全国表彰を受ける。
- 2月25日 NHK大河ドラマ「琉球の風」の撮影ロケ地に読谷村の西海岸が決定する。
- 3月19日 むら興し会社「株式会社ユンタンザ」を創立する。
- 3月22日 4月11日、事務所開き。
- 読谷少年柔道クラブ、第12回全国少年柔道大会沖縄予選で優勝、5月の講道館での全国大会へ出場が決定する。
- 3月27日 読谷中学校ソフトボール部、県代表として九州ソフトボール大会へ出場する。
- 3月30日



116 ヤチムンの里北窯がオープン



117 第1回読谷村功労表彰式典



118 スタジオパーク琉球の風が開園



119 儀間公民館が落成

- 3月30日 読谷高校野球部、第64回選抜高校野球大会、甲子園初出場で大健闘する。
- 3月31日 読谷中学校、第13回全日本リコーダコンテストに県代表として出場し銀賞に輝く。
- 3月31日 村営喜名団地が完成する。
- 4月14日 楚辺区、楚辺誌「戦争編」を発刊する。
- 5月6日 ユンタンザ大獅子がニューヨーク公演へ、長浜区で壮行激励会が催される。
- 5月25日 渡慶次小学校5年生、喜屋武元気選手が第12回全国少年柔道大会5年生の部で優勝し全国を制覇する。
- 5月27日 読谷小学校プール開き。
- 5月30日 ヤチムンの里、読谷山焼「北窯」の登り窯に最初の火が入る。
- 7月1日 喜名区、「さくらの塔」「梯梧之塔」の老朽化のため再建立する。
- 7月11日 第1回読谷村功労表彰式典が開催される。
- 7月27日 村内13番目の公園、座喜味児童公園が落成し祝賀会が催される。
- 7月27日 読谷中学校テニス部、九州大会で優勝飾る。
- 7月31日 長浜少年野球クラブ、初優勝で九州大会へ派遣。
- 8月6日 読谷中学校柔道部、2年ぶりベスト4を達成する。
- 8月26日 読谷中学校ソフトボール部、県大会を制覇。
- 9月19日 松田哲也(宇座・沖縄尚学高等学校)、柔道で日本代表としてドイツへ選抜派遣される。
- 9月19日 第1回ユンダンザむらあしび、8か字から伝統の民俗芸能を座喜味城跡に集める。
- 9月23日 渡慶次区、57年ぶりに大綱挽きを復活する。
- 9月30日 楚辺区体育振興会、第1回生涯スポーツコンベンション沖縄92で生涯スポーツ大賞に輝く。
- 11月2日 NHK大河ドラマ「琉球の風」のメインロケ地、スタジオパーク「琉球の風」が開園する。前日に中国福建省で建造された進貢船「泰期号」も入港。ロケ撮影は10月7日より村民エキストラ1700人が協力して始まる。
- 11月28日 農業協同組合紅いも加工センターの落成祝賀会が催される。
- 12月5日 座喜味区、ざきみ児童文庫の落成式が行われる。
- 12月22日 高志保区、第1回高志保まつりを催す。
- 12月24日 大添区の民家にパラシュートが落下、現場で事故現場は一時騒然となる。
- 12月27日 「読谷村ふれあいプラザ」建設起工式が行われる。
- 12月28日 残波岬街道沿で第1回読谷村植樹祭を催す。
- 1月16日 渡慶次小学校、創立90周年記念式典を挙げる。

1993(平成5)

- 1月30日 「琉球の風」関係者で国際的スターのショーコスキ・歌手の谷村新司が役場を表敬訪問。
- 2月10日 世界ジュニアソフトボール大会へ儀保信虎選手が日本ナショナルチームの一員として選抜され、その激励会が催される。
- 2月17日 読谷村商工会、琉球新報産業活動賞を受賞その祝賀会が催される。
- 3月30日 儀間公民館が完成する。
- 都屋公民館が完成する。

編集後記

戦後48年、復帰後でも21年目を数える。これまでの読谷村の激動の時代を写真で現すべく、広く村民に写真の提供を呼びかけ、各公民館を訪問して協力を要請した。また、村広報写真や村史編集室の複写写真の整理に多くの時間を費やした。ネガにして60,000駒余から3700余枚をプリントして第1次選択資料として1枚毎に写真台帳を作成した。その後これを分野毎に整理し、2次3次と収録予定写真を編集委員会で絞り込んだ。広報写真を含め、村民からは多くの写真を寄せてもらい、できるだけ多く載せるよう努力したが紙幅の都合等で最終的に670枚を収録させてもらいました。今回収録を見合わせた写真は今後なんらかの形で活用させてもらいたいと考えております。

本書の写真収集にご協力いただいた方々は次の通りである。なお役場企画課広報をはじめとする各課、並びに各字公民館の協力をいただいたことを感謝申し上げます。

〔写真提供者・協力者（出身字）〕

沖縄県立平和祈念資料館 沖縄うみの園

知花 成昇（波 平） 安田 慶文（渡慶次） 山城 幸成（大 湾）
新崎 盛繁（比謝缸） 與儀 信徳（波 平） 岳原 宜正（比謝缸）
池原 良盛（古 堅） 野村 正弘（渡慶次） 渡久山朝章（比謝缸）
松田 芳信（楚 辺） 宮平 良秀（喜 名） 新垣 喜一（宇 座）
松田 栄正（大 湾） 比嘉 豊光（楚 辺） 伊波 善六（古 堅）
砂辺 松雄（大 木） 山之端立雄（大 木） 儀間 真次（古 堅）
山城 正康（座喜味） 山内 シゲ（渡慶次） 照屋 キヨ（波 平）
照屋 すみ（波 平） 上地 トヨ（高志保） 大湾 竹（渡具知）
比嘉 利次（古 堅） 具志堅タケ（儀 間） 山内 トキ（座喜味）
知花 和子（儀 間） 宮平 良慶（喜 名） 仲本 得信（大 木）
山内 昌武（儀 間） 奥原 清（ハワイ） 島袋ツル江（ハワイ）
大城 秀一（ハワイ） 奥原アヤ子（ハワイ） 上原 進助（ハワイ）
沢岬 リン（ハワイ）

主な参考文献（複写も含む）

『読谷村誌』『村治十五年』『村の歩み』『残波の里』『波平の歩み』
『渡慶次の歩み』『都屋誌』『記念誌（渡具知）』『広報 よみたん』
『70周年記念誌 読谷村婦人会』『創立五十周年記念誌 読谷山小学校』
『40周年記念誌 喜名小学校』『60周年記念誌 渡慶次小学校』
『創立75周年記念誌 古堅小学校』『創立35周年記念誌 古堅中学校』
『飛翔 - 読谷まつり10年のあゆみ - 』『金城次郎の世界』
『木綿原 沖縄県読谷村渡具知木綿原遺跡発掘調査報告書』『平和の炎』
『読谷村陸上競技大会』『沖縄大百科事典』『沖縄県行政記録』
『新郷土地図 沖縄第3巻』他

『激動 読谷村民戦後の歩み』

1993年（平成5）3月30日 発行

編 集 『激動 読谷村民戦後の歩み』編集委員会

発 行 読谷村役場

〒904-03 沖縄県読谷村字波平37番地

TEL 098-958-2201

印 刷 株式会社 かいほう

〒901-14 沖縄県佐敷町字津波古1074-12

TEL 098-947-3315（代）